

令和六年度

# 佐賀県国際化の現況

佐賀県多文化共生さが推進課

# 目 次

## I 国際化の現況

### 1. 海外渡航者の状況

- (1) 日本人出国者数の推移 ..... 1
- (2) 全国の外国人入国者数 ..... 1
- (3) 佐賀県旅券発行件数 ..... 1
- (4) 佐賀県の年代別発給件数 ..... 2

### 2. 在留外国人数の状況

- (1) 年次別在留外国人数の推移 ..... 3
- (2) 在留外国人数（国籍・地域別） ..... 4
- (3) 在留外国人数（在留資格別） ..... 5

### 3. 外国人留学生の受入状況

- (1) 外国人留学生数の推移 ..... 6
- (2) 県内外国人留学生の受入状況（学校別） ..... 6

## II 佐賀県の国際展開

### 1. 国際化推進事業概要

- (1) 県の事業 ..... 7
- (2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業 ..... 15
- (3) 市町の事業 ..... 16

### 2. 国際交流の推進

#### (1) 姉妹・友好提携交流

##### ア 全国の状況

- (ア) 全国自治体別友好姉妹提携数 ..... 25
- (イ) 全国相手国別友好姉妹提携数一覧 ..... 25

##### イ 佐賀県の状況

- (ア) 相手国別友好姉妹提携一覧 ..... 26
- (イ) 県の状況 ..... 27
- (ウ) 市町の状況 ..... 28
- (エ) その他友好団体 ..... 31

ウ	教育機関等の姉妹友好等提携交流	
(ア)	大学・短期大学	32
(イ)	高等学校	37
(ウ)	中学校	40
(エ)	小学校	42
(2)	世界の諸地域との交流	
ア	市町別移住者数一覧	43
イ	在外県人会	44
3.	国際化推進のための環境づくり	
(1)	語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)	
ア	年度別招致状況	45
イ	外国青年招致事業による招致青年の配置状況	46
(2)	外国語教育	
ア	県立高校における留学生受入校及び受入人数	47
イ	県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況	47
ウ	県立高校における英語以外の外国語の取組状況	48
エ	県立高校における海外修学旅行の実施状況	48
オ	海外との交流状況	
(ア)	高等学校	49
(イ)	中学校	53
(ウ)	小学校	56
(3)	多文化共生の地域づくり	
ア	県内の地域日本語教室の数	58
4.	国際協力	
(1)	国際協力の推進	
ア	佐賀県海外技術研修員受入状況	59
イ	独立行政法人国際協力機構(JICA)研修員受入状況	61
ウ	独立行政法人国際協力機構(JICA)海外技術専門家派遣状況	63
エ	青年海外協力隊等派遣状況	

(ア)	年度別派遣者数	65
(イ)	国別・地域別派遣者数	65
(ウ)	青年海外協力隊・海外協力隊員派遣状況	67
(エ)	シニア海外協力隊派遣状況	67
(オ)	日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊派遣状況	67
オ	アセアン青年・青年研修等受入状況	68

### Ⅲ 国際交流関係諸機関

1.	市町国際交流担当課（室）	69
2.	県の機関	70
3.	その他関係機関	70

# I 国際化の現況

## 1. 海外渡航者の状況

佐賀県(佐賀空港利用者)の日本人出国者数は、平成12年をピークに減少傾向にあったが、平成28年から令和元年まで4年連続で増加した後、令和2年に新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ。)が世界的に流行してからは減少に転じ、令和2年は前年比86.1%、令和3年は大幅に減少した前年からさらに減少し、前年比92.4%となった。令和4年には渡航制限が徐々に緩和されて出国者数が増加に転じると前年比637.9%となり、令和5年にはコロナが5類に移行したこともあり、前年比477.2%まで増加した。令和6年も増加し、前年比190.3%となった。

全国でみても、日本人出国者数は令和3年が前年比83.9%で減少、令和4年は前年比441.1%で増加、令和5年は前年比247.2%、令和6年は前年比135.2%で増加となり、佐賀県同様の増減サイクルとなった。

また、令和6年の全国の外国人入国者数は、前年に比べ1,094万9,154人増加し、過去最高となった。韓国が最も多く、次いで台湾、中国の順となった。

佐賀県の旅券発行件数においては、令和元年の発行件数は21,402冊であったが、コロナの流行により令和2年以降は旅券取得を希望する人が大幅に減り、令和3年は令和元年比6.2%(1,328冊)と大きく減少した。その後、令和4年には令和元年比18.7%と増加に転じ、令和5年は令和元年比73.9%、令和6年は令和元年比83.5%まで回復した。

(1) 日本人出国者数

年次	佐賀県(※)		全国	
	人数(人)	前年比%	人数(人)	前年比%
H5	50,130	104.7	11,933,620	101.2
H6	57,557	114.8	13,578,934	113.8
H7	65,835	114.4	15,298,125	112.7
H8	67,777	102.9	16,694,769	109.1
H9	70,653	104.2	16,802,750	100.6
H10	66,561	94.2	15,806,218	94.1
H11	71,456	107.4	16,357,572	103.5
H12	76,297	106.8	17,818,590	108.9
H13	66,287	86.9	16,215,657	91.0
H14	69,029	104.1	16,522,804	101.9
H15	48,337	70.0	13,296,330	80.5
H16	65,888	136.3	16,831,112	126.6
H17	63,286	96.1	17,403,565	103.4
H18	60,941	96.3	17,534,565	100.8
H19	59,688	97.9	17,294,935	98.6
H20	55,213	92.5	15,987,250	92.4
H21	56,494	102.3	15,445,684	96.6
H22	58,342	103.3	16,637,224	107.7
H23	60,369	103.5	16,994,200	102.1
H24	69,039	114.4	18,490,657	108.8
H25	59,875	86.7	17,472,748	94.5
H26	57,006	95.2	16,903,388	96.7
H27	50,207	88.1	16,213,789	95.9
H28	55,617	110.8	17,116,420	105.6
H29	58,515	105.2	17,889,292	104.5
H30	67,003	114.5	18,954,031	106.0
R元	71,500	106.7	20,080,669	105.9
R2	9,942	13.9	3,174,219	15.8
R3	758	7.6	512,244	16.1
R4	5,593	737.9	2,771,770	541.1
R5	32,282	577.2	9,624,158	347.2
R6	61,440	190.3	13,007,282	135.2

※佐賀空港利用者

(2) 全国の外国人入国者数

年次	人数(人)	前年比%
H5	3,747,157	95.4
H6	3,831,367	102.2
H7	3,732,450	97.4
H8	4,244,529	113.7
H9	4,669,514	110.0
H10	4,556,845	97.6
H11	4,901,317	107.6
H12	5,272,095	107.6
H13	5,286,310	100.3
H14	5,771,975	109.2
H15	5,727,240	99.2
H16	6,756,830	118.0
H17	7,450,103	110.3
H18	8,107,963	108.8
H19	9,152,186	112.9
H20	9,146,108	99.9
H21	7,581,330	82.9
H22	9,443,696	124.6
H23	7,135,407	75.6
H24	9,172,146	128.5
H25	11,255,221	122.7
H26	14,150,185	125.7
H27	19,688,247	139.1
H28	23,218,912	117.9
H29	27,428,782	118.1
H30	30,102,102	109.7
R元	31,187,179	103.6
R2	4,307,257	13.8
R3	353,119	8.2
R4	4,198,045	1,188.9
R5	25,830,810	615.3
R6	36,779,964	142.4

調：法務省出入国在留管理庁

(3) 佐賀県旅券発行件数

(単位：冊)

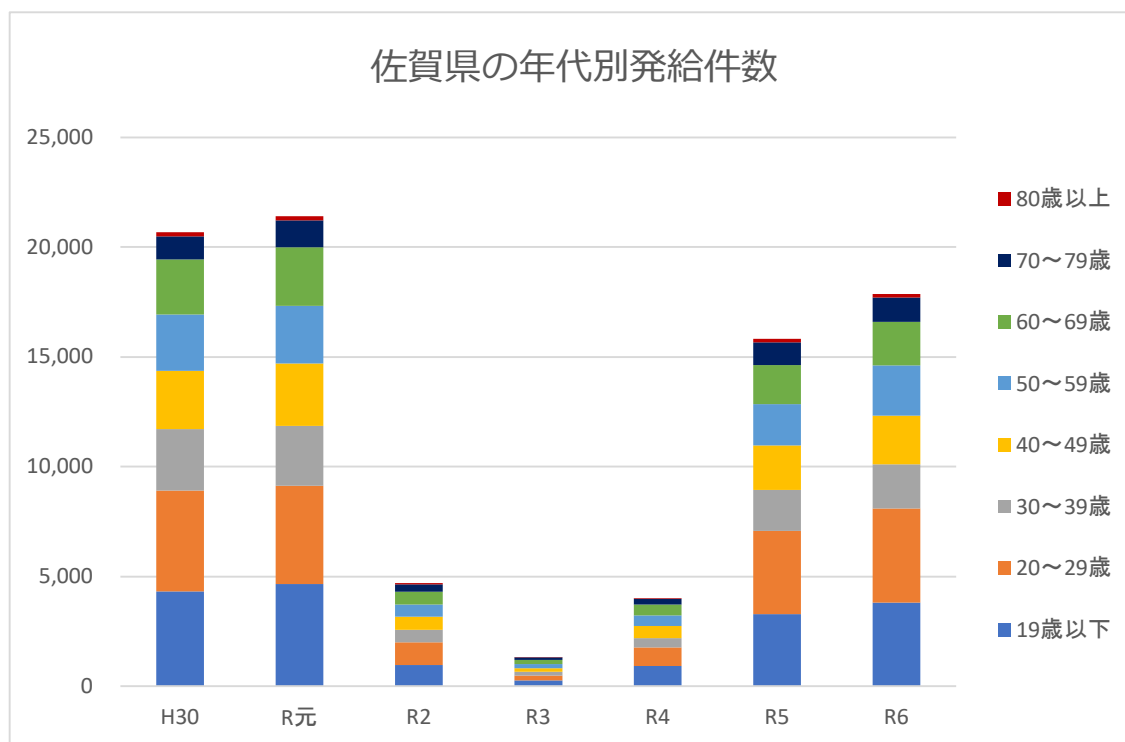
年次	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
佐賀県発行数	16,580	17,766	20,673	21,402	4,696	1,328	4,016	15,820	17,873
国内発行数	3,738,380	3,959,468	4,182,207	4,365,290	1,234,928	513,943	1,218,692	3,401,533	3,700,111

調：外務省

(4) 佐賀県の年代別発給件数（令和6年1月～12月）

年次 区分	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
19歳以下	4,311	4,645	967	259	923	3,272	3,812
20～29歳	4,593	4,478	1,043	218	834	3,804	4,289
30～39歳	2,804	2,723	558	179	443	1,860	2,006
40～49歳	2,658	2,848	585	171	537	2,031	2,227
50～59歳	2,572	2,622	574	176	479	1,881	2,274
60～69歳	2,509	2,671	578	197	512	1,767	1,987
70～79歳	1,029	1,234	333	109	253	1,043	1,105
80歳以上	197	181	58	19	35	162	171
合 計	20,673	21,402	4,696	1,328	4,016	15,820	17,871

調：外務省

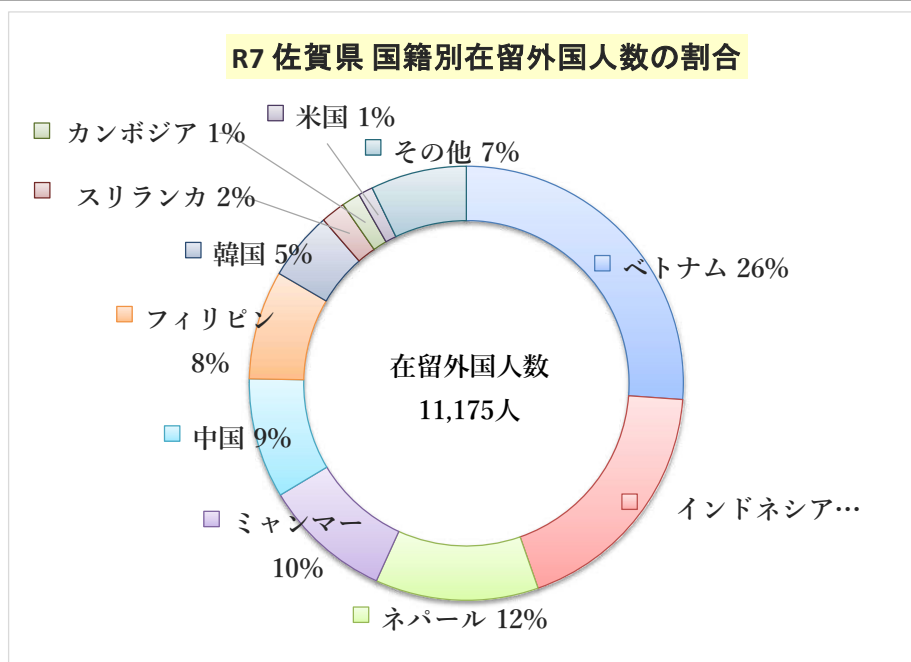
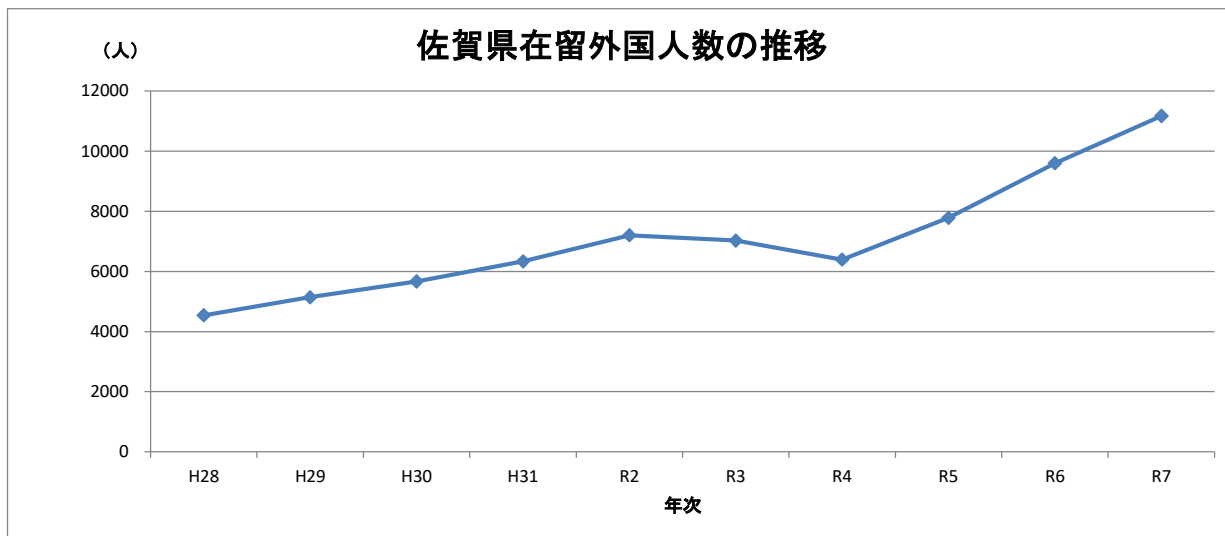


## 2. 在留外国人数の状況

(1) 年次別在留外国人数の推移

年次	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
佐賀県	4,543	5,143	5,666	6,338	7,205	7,027	6,394	7,785	9,601	11,175
全国	2,174,469	2,323,428	2,497,656	2,667,199	2,866,715	2,811,543	2,704,341	2,993,839	3,323,374	3,677,463

※各年1月1日現在（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」）



調：多文化共生さが推進課



## (3) 在留外国人数(在留資格別)

令和7年1月1日現在

区 分	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	計
総 計	2,913	1,169	2,166	294	930	371	267	379	276	327	335	441	150	346	17	231	43	100	320	100	11,175
技能実習	625	588	292	163	461	154	79	159	80	130	190	141	99	200	4	100	10	60	174	59	3,768
特定技能	422	196	353	39	250	42	59	55	29	83	49	185	26	26	5	38	12	15	87	20	1,991
留 学	597	4	631	6	0	3	6	2	0	31	0	26	0	0	0	6	0	1	7	0	1,320
永 住 者	396	133	222	18	47	37	15	55	25	25	29	26	5	45	2	21	3	3	21	5	1,133
技術・人文知識 ・国際業務	164	49	231	15	39	27	9	30	42	14	10	21	3	13	0	16	1	4	2	5	695
家族滞在	227	39	171	13	31	32	12	22	22	12	11	11	0	22	2	16	8	5	5	0	661
特別永住者	132	44	49	12	39	9	6	14	27	8	6	7	7	0	0	13	2	4	8	1	388
日本人の配偶者等	89	53	62	6	27	21	15	11	17	7	7	7	2	15	2	7	1	1	7	3	360
介 護	54	8	21	11	3	9	11	7	12	5	6	3	1	11	1	2	1	3	4	4	177
定 住 者	71	16	37	3	3	5	4	8	0	1	3	6	3	2	0	2	0	1	1	1	167
特 定 活 動	30	2	17	4	7	9	18	9	2	9	15	2	3	2	0	3	0	1	2	2	137
技 能	27	10	47	0	3	6	6	2	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	106
教 育	18	14	7	0	2	7	3	2	1	0	1	0	0	0	1	1	2	2	1	0	62
経 営 ・ 管 理	17	3	13	4	4	2	2	1	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	51
永住者の配偶者等	11	3	9	0	0	0	2	2	0	0	1	2	0	9	0	1	0	0	0	0	40
企業内転勤	4	0	1	0	2	0	17	0	0	1	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	33
興 行	3	0	2	0	0	1	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
宗 教	3	1	0	0	7	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
高度専門職	3	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	12
教 授	16	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
文化活動	3	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	11
医 療	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
その他(未取得等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芸 術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
報 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法律・会計業務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研 究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研 修	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

\*「その他」は、出生による経過滞在者で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている者等

出典：多文化共生さが推進課調

### 3 外国人留学生の受入状況

令和6年の佐賀県における外国人留学生数は、1052人と前年に比べ44人の増加となっている。  
 学校種別で見ると、短期大学の増加が目立つ。学校別で見ると、大学・短大では佐賀大学の200人が最多であり、日本語教育機関などではCODO外語観光専門学校が220人が最も多い。  
 国籍別で見ると、ネパールが515人と圧倒的に多く、ミャンマーが218人と続く。大学では中国、日本語教育機関などではネパールが多数を占めている。

#### (1) 外国人留学生数の推移

(単位：人) 令和6年5月現在

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
大学	268	258	199	142	156	208	241
短期大学	45	104	136	129	161	160	230
日本語学校	382	370	323	27	316	459	361
専門学校	96	199	291	248	149	181	220
県内計	791	931	949	546	782	1008	1052
全国計	298,980	312,214	279,597	242,444	231,146	279,274	336,708

調：(県内) 佐賀地域留学生等交流推進協議会

調：(全国) 独立行政法人日本学生支援機構

#### (2) 県内外国人留学生の受入状況 (学校別)

(単位：人) 令和6年5月現在

	ネパール	ベトナム	中国	ミャンマー	スリランカ	バングラデシュ	韓国	インドネシア	マレーシア	タイ	その他	計
佐賀大学	2	8	50	3	7	28	14	29	4	4	51	200
西九州大学	18	2	18	0	0	0	0	0	0	2	1	41
西九州大学短期大学部	2	4	1	108	3	0	0	3	0	0	2	123
九州龍谷短期大学	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	8
佐賀女子短期大学	7	0	7	80	0	0	5	0	0	0	0	99
弘堂国際学園	133	13	1	14	12	6	0	0	0	0	1	180
日本文化教育学院	63	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	66
佐賀ランゲージセンター	85	1	0	7	8	4	0	0	0	0	10	115
CODO外語観光専門学校	205	11	2	0	0	0	0	0	1	0	1	220
合計	515	39	81	218	32	39	19	32	5	6	66	1052

調：佐賀地域留学生等交流推進協議会

## II 佐賀県の国際展開

### 1. 国際化推進事業概要

#### (1) 県の事業（令和6年度）

課名	事業名	内容
国際政策グループ	グローバルSAGA推進事業	<p>国際情勢の変化を的確に捉えて対応するため、派遣・招聘を実施し、友好交流地域、重点連携国等との連携強化及び深化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（招聘）国際交流推進関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6.11.21～11.22 リタ・ファン・ドリエル氏（オランダバラスポーツ関係者）</li> <li>・R7.1.9～1.10 島塚絵里氏（フィンランドテキスタイルデザイナー）</li> </ul> </li> <li>○（招聘）外務関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6.7.21 在福岡タイ王国総領事及び同国政府関係者（タイフェスティバル開催に係る）</li> <li>・R6.11.15～11.17 駐日フィンランド大使ご夫妻招聘（フィンランドフェア開催に係る）</li> </ul> </li> <li>○（招聘）外国政府機関等の知事表敬受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6.5.24 中華人民共和国駐福岡総領事</li> <li>・R6.6.11 在福岡タイ王国総領事</li> <li>・R6.6.14 次期駐日オランダ大使</li> <li>・R7.3.13 駐日ウズベキスタン共和国大使</li> <li>・R7.3.28 駐日ベトナム大使 等</li> </ul> </li> <li>○（派遣）駐日大使館等主催のレセプション参加対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国慶節（ベトナム、韓国、台湾、中国、インド）</li> <li>・ナショナルデー（タイ、ネパール、スペイン）</li> </ul> </li> </ul>
	重点連携国情報発信事業	<p>タイ及びフィンランドとの今後の交流や更なる取組の創出につなげるため、両国との連携及び関係する様々なコンテンツの対比・組み合わせ・融合等のコラボレーションを県民に知ってもらう機会を創出するイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タイフェスティバルin SAGA シリーズ8 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：R6.7.21</li> <li>・来場者数：約14,000名</li> </ul> </li> <li>○フィンランドフェアin SAGA シリーズ6 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：R6.11.16～11.17</li> <li>・来場者数：約9,700名</li> </ul> </li> </ul>
	日韓海峡沿岸交流事業	<p>日本側4県（福岡県、佐賀県、長崎県、山口県）及び韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）との知事会議等の開催を通して、両地域間における広域的かつ多様な交流の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：R6.12.7～12.8</li> <li>・開催場所：佐賀県</li> </ul>
	海外県人会交流推進事業費	<p>在外県人会に対する活動支援補助金により、会員同士の結びつきが強まり、県人会の活動が活性化された。</p>
国際政策グループ	創造的プラットフォーム形成事業費	<p>オランダ支援財団を通じてクリエイターを受け入れ、滞在型創作活動を行うため約3か月間有田町に滞在するクリエイティブレジデンス有田（CRA）の受入支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間：第1期R6.6.1～8.31（2名）</li> <li>第2期R6.9.1～11.30（2名）</li> </ul>
	グローバルパートナーシップSAGA推進事業費（特定経費）	<p>佐賀県の国内外におけるプレゼンスの向上を図るため、新規連携国の開拓及び既存連携国との連携促進・新規分野の開拓を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリンセンホフ博物館との連携（オランダ）</li> <li>・肥前吉田焼産地再生プロジェクト（フィンランド）</li> <li>・「THE COURT」との連携によるサッカーを通じた交流（タイ）</li> </ul>
多文化共生さが推進課	海外交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校交流は訪問、オンラインおよび手紙等の交流を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全羅南道：3校（佐賀農業、神崎中、千代田中）</li> <li>・台湾：1校（鳥栖商業）</li> </ul> </li> <li>○佐賀県内の学校とホストタウン相手国の学校（オランダ2校）間で、オンラインディスカッションやポスター作成などを通して青少年交流を実施</li> <li>○佐賀県職員的全羅南道派遣を実施</li> <li>○中国（貴州省）との交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国貴州省と佐賀県の青少年交流事業（50名の佐賀県の学生が貴州省を訪問）</li> </ul> </li> </ul>
	JICAボランティア支援事業	<p>佐賀県ホームページにて、佐賀県JICAデスクのホームページを案内し、広く県民の国際協力への理解や関心を高め、ひいては、協力隊参加の促進を図った。</p>
	国際交流支援拠点の運営	<p>多文化共生推進の拠点である国際交流プラザの管理と運営を行った。</p>

課名	事業名	内容
多文化共生さが推進課	外国人に関する総合相談窓口運営	外国人に関する相談窓口の機能を強化するため、国際交流プラザ内に「さが多文化共生センター」を設置し、様々な相談対応を行った。 ・相談体制：専任相談員3名 ・相談言語：22言語（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、マレー語、ネパール語、タガログ語、インドネシア語、ポルトガル語、フランス語、スペイン語、ロシア語、イタリア語、ドイツ語、タイ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語、ウルドゥー語） ・実施主体：公益財団法人佐賀県国際交流協会（県の委託） ・相談実績：R6年度（R6.4.1～R7.3.31）777件
	在住外国人支援事業	多文化共生の地域づくりの推進のため、外国人住民の生活環境づくりを行った。 ○防災支援 ジョイソン・セイフティ・システムズの技能実習生を対象に外国人のための体験型防災セミナーを実施した。また、民間団体、個人、行政職員向けに、外国人と共に取り組む災害対応セミナーを実施した。 ○医療支援事業 医療通訳サポーターの医療機関への派遣及び通訳サポーター研修を実施した。また、医療機関を受診の際、電話による通訳サービスを使用できるよう、外部コールセンターを利用した医療通訳サービスを提供し、広く周知を行った。 ○生活相談支援事業 県内市町行政機関の担当窓口等（役場や福祉事務所等）が円滑な相談対応をできるようにするため、電話通訳サービスの利用を行った。
	多文化共生地域の場づくり推進事業	「生活者としての外国人」が日本人住民と交流を通して、日本で生活する上で必要な日本語や生活のルール、文化、風習などを学び、「顔の見える関係づくり」を目的とする地域日本語教室を県内の各市町に設置することで、外国人住民の日本語学習機会や地域住民等との交流の場を整備、充実させた。 ・設置状況：地域日本語教室設置地域14市町 ・地域日本語教室の数：県内24か所（行政主催：9市町10か所、ボランティア主催：14か所）
	多文化共生環境整備事業	R3～4年度にかけて実施した住民へのアンケート調査や多文化共生の推進に係る施策検討会議での意見等を踏まえ策定した「さが多文化共生推進アクション」の活用と更新を図った。また、県内市町と協働してタウンミーティングを開催するなど、地域や事業所等における多文化共生マインドの醸成、「顔の見える関係づくり」の促進を図った。
	多文化共生に関する行政職員向け研修会	多文化共生を進めるうえで、住民に対して直接行政サービスを提供する市町との連携は極めて重要であることから、更なる強化を目的に県内20市町の職員及び県職員を対象に研修会を開催し、県内の実務者の顔の見える関係づくりを構築し、情報共有を図った。 ・開催日：R6.5.31 ・研修内容：災害時の外国人支援についての講話、留学生を交えた避難所巡回の実践振り返り、意見交換
	外国人留学生県内就職・進学支援事業	県内事業所での優秀な外国人材の活用、県内の多文化共生の地域づくりを図るために、外国人留学生の県内定着率の向上に取り組んだ。 外国人留学生の県内就職・進学に取り組む大学等に対し補助金を交付した。
	私費留学生支援事業	経済的に苦しい状況にある私費留学生に対して、県民協働で支援金を支給し、支援金提供者である県民と留学生の顔の見える関係を構築し、お互いの交流が進むように支援を行った。 ・支援金受給者：9名 ・支援者：7つの企業・団体
	多文化共生の地域づくり事業	地域おこし協力隊制度を活用し、「多文化コミュニケーションプランナー」1名を配置。地域における多文化共生の意識醸成を図るとともに、地域と外国人をつなぐ仕組みづくりを実施した。
	国際交流員の設置事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により国際交流員4名（ベトナム1名、韓国1名、中国1名、フィンランド1名）を招致し、外国賓客の接遇・通訳、外国語刊行物等の編集・翻訳・監修など県の国際交流関係事務の補助、地域における語学指導への協力、イベントへの参画・助言など地域の国際交流活動支援を行った。
外国語指導助手（ALT）、国際交流員（CIR）の設置補助事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により、日本と諸外国の人々の相互理解を深め、外国語教育を推進するため、外国語指導助手（Assistant Language Teacher: ALT）、国際交流員（Coordinator for International Relations）の設置のサポートを県内の市町に実施した。 ・JETプログラムによるALT・CIR（国際交流員）数： 県や10市町に37名（国籍：アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ等）	

課名	事業名	内容
空港課	上海便の運航	新型コロナウイルス感染症等の影響により運休していたが、R5.9から約3年半ぶりに運航再開した。 運航路線：九州佐賀国際空港—上海浦東国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：R6.4.1～週3便 利用者数：43,256名
	西安便の運航	九州佐賀国際空港と西安咸陽国際空港との間で国際定期航空路線が運航しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりR5年度、R6年度は全便運休。 運航路線：九州佐賀国際空港—西安咸陽国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：— 利用者数：—
	ソウル便の運航	新型コロナウイルス感染症等の影響により運休していたが、R5.9から約4年ぶりに運航再開した。 運航路線：九州佐賀国際空港—仁川国際空港 運航会社：ティーウェイ航空 運航便数：R6.4.2～R6.10.26週3便、R6.10.27～週4便 利用者数：53,342名
	台北便の運航	新型コロナウイルス感染症等の影響により運休していたが、R5.4から約3年ぶりに運航再開した。 運航路線：九州佐賀国際空港—台湾桃園国際空港 運航会社：タイガーエア台湾 運航便数：R6.4.1～週3便 利用者数：33,026名
港湾課	港湾振興事業	【伊万里港】国際コンテナ貨物を扱う国際貿易港 航路の充実や利用拡大を図るため船会社や荷主企業等を訪問しポートセールスを実施した。 ・国際定期コンテナ航路：4航路週8便（R7.3月現在） ①天津・大連・青島航路（1便/週）、②上海航路（2便/週）、③釜山航路（4便/週）、 ④国際フィーダー航路（神戸港経由） ・R6国際コンテナ取扱実績数：28,149TEU  【唐津港】物流・水産・観光レクリエーションの複合港 ・外国クルーズ船の誘致等に関する事業及び寄港受入を実施した。 ・R6年外国クルーズ船寄港数：5回
広報広聴課	海外映画ドラマ等のロケ誘致	映画やドラマなどの映像を通じた佐賀県の情報発信及び観光振興を目的として、海外映画ドラマ等のロケ誘致を行っている。R5年度は、マレーシアドラマを誘致し、現地で放映されたところ大きな反響があり、続編の制作も決定した。その他、フィリピン映画の撮影も誘致するなど、海外からのロケハン及び撮影の受け入れも再開した。
九州陶磁文化館	在外肥前陶磁調査事業	九州陶磁文化館学芸員の海外派遣調査事業 海外の主要博物館を九州陶磁文化館の学芸員が訪問し、整理・鑑定や助言を行うことで、有田焼の展示機会の促進及びより正確な情報発信に寄与し、海外における有田焼や九州陶磁文化館のプレゼンス向上につなげることを目的としている。R6年度は、韓国国立光州博物館との交流等をもとに調査先を設定し、有田焼ルーツの調査及び当館からの情報提供を行った。 【概要】 ・調査先：韓国（国立晋州博物館、京畿陶磁博物館）R.7.2.4～2.7
	国際学術・文化交流事業	○韓国 国立光州博物館との学術交流協定 韓国の国立博物館の中で陶磁器を主なテーマとして活動を行う光州博物館と学術交流協定を締結している（H31.3.27～）。国立光州博物館では、R7.12にアジアの陶磁文化を紹介する陶磁器専用の新館「陶磁文化館」がオープンする予定。R6年度は、韓国国立光州博物館との交流等をもとに調査先を設定し、有田焼ルーツの調査及び当館からの情報提供を行った。 ○日本肥前磁器芸術中国交流展（名称未定）への協力 中国各地を巡回してR7年からの開催が企画されている展覧会に館蔵品約100件の出品準備と展示内容の監修等の協力を進め、開催地と開催時期について、プロモーターを通じて調整を継続。 ○オランダ プリンセンホフ博物館との交流 プリンセンホフ博物館では、オランダを代表する窯業地デルフトに所在し、R6年度に特別展Pioneering Ceramicsが開催され、クリエイティブレジデンシーアリティによる成果品が展示された。プリンセンホフ博物館から当館と学術交流が期待されていることを受けて、館長および学芸員が訪問し情報交換が行われた。日時：R6.12.11～13
	外国人来館者等への多言語対応	○多言語化推進 英語による展示解説表記及び多言語パンフレット（英語、ドイツ語、フランス語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語）配布 ○英語版ガイドブック 第1展示室「有田焼の歴史」の展示内容を解説したガイドブック英語版の販売 ○寄贈記念・特別企画展「瀬川コレクション」江戸大皿百物語 R6.9.7～11.4 当特別企画展図録および展示室に掲示する解説文章並びに広報に英語を表記することにより、佐賀県の誇る陶磁文化を海外に情報発信。

課名	事業名	内容
名護屋城博物館	国際学術・文化交流事業	<p>○韓国国立晋州博物館との交流事業 国立晋州博物館との間で締結した交流協定（平成14年度～）に基づき、展覧会・資料調査・文化財の貸与などそれぞれの事業に対して相互協力を実施。R6年度は4月3日～4日の期間で晋州博物館学芸員の県内での調査を支援した。</p> <p>○韓国語講座 ・内容：国際交流員による一般向けの韓国語講座 ・期間：前期 R6.5.11～8.3（毎週土曜日、全12回、初級） 25名 後期 R6.11.2～R7.2.1（毎週土曜日、全12回、中級） 19名 ・会場：本館 図書閲覧室</p> <p>○第19回韓国語スピーチコンテストinなごや ・期日：R6.12.8（日）13時～16時30分 ・会場：本館ホール ・出場者：24名（スキット部門7組14名、スピーチ部門10名） ・後援：駐福岡大韓民国総領事館、福岡韓国教育院、韓国観光公社福岡支社</p>
	県内学校の日韓交流事業への協力	<p>○唐津市立名護屋小学校 ・内容：国際交流員による韓国文化・韓国語に関する出張授業を実施 ・対象及び回数：1年生～6年生の児童、4回</p>
	博学協働授業	<p>○県立唐津青翔高等学校との博学協働授業「日韓交流史」 ・概要：唐津青翔高等学校2年の地理歴史科に設定される学校設定科目「日韓交流史」（2単位）を、本館と学校との協働により年間を通じて運営。H18年度から継続。 ・対象・回数：韓国文化系列2年生（R6年度は15名） ・回数：22回 ・授業内容：名護屋城跡・陣跡を中心とした日韓交流史、韓国文化</p>
	外国人来館者等への多言語対応	<p>○多言語化推進 ・R5年3月に近年の展示拡充を追加した館内パンフレット（英・韓）を更新した。 ○リニューアルに伴う展示解説の英訳追加 ・R6年度に実施した常設展示の一部リニューアルにおいて、各コーナーの解説文に英語の要約を追加した。</p>
佐賀城本丸歴史館	外国語おもてなし事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語による館内表示</li> <li>・佐賀城本丸ボランティア外国語班による来館者への展示解説</li> <li>・中国語と韓国語の通訳ガイドによる展示概説（事前予約制）</li> </ul>
	広報誘客事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語版ホームページによる情報発信及び外国語版館内イラストマップの配布（英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語）</li> <li>・外国語音声案内ガイドシステムの運用（英語、中国語、韓国語）30台</li> </ul>
コンベンションチーム	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（誘致プロモーション活動）	愛知・名古屋アジア競技大会2026事前キャンプ受入に向けて、タイ王国ローイング・カヌー協会へ誘致プロモーションを実施
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（視察招聘）	世界水泳選手権2025シンガポール大会事前キャンプ誘致に向け、カナダ水泳連盟関係者の視察招聘を実施
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（事前キャンプ受入）	カヌースプリントアジア選手権 タイ王国代表事前キャンプ受入
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（交流事業等）	カヌースプリントアジア選手権 タイ王国代表事前キャンプ受入時に県内高校選手へのコーチクリニック及び県内高校生とタイ料理作りによる交流事業を実施
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（おもてなし向上）	カヌースプリントアジア選手権 タイ王国代表事前キャンプ受入時に県産品の贈呈を実施

課名	事業名	内容
観光課	外国人観光客誘致対策事業 (一社) 佐賀県観光連盟事業費補助)	<p>(1) 外国人観光客誘致対策事業</p> <p>○韓国人観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セールスプロモーション17回 (国内・韓国)</li> <li>・旅行会社等の招請14件 (韓国旅行会社の支店等)</li> <li>・旅行会社等とのタイアップ14社</li> <li>・旅行博覧会展 1回</li> <li>・韓国語版ホームページ運営</li> <li>・公式ブログ運用、公式Instagram運用</li> <li>・人気インフルエンサーを活用した情報発信</li> <li>・韓国語県内MAP (10,000部) 制作</li> <li>・韓国語観光ガイドブックの福岡空港国際線観光案内所に設置</li> <li>・旅行専門マガジンと有名セレブを活用したプロモーション</li> <li>・主なメディアにおけるレンタカー旅行記発信</li> <li>・観光素材データ集作成及び配布 (200枚)</li> <li>・個人誘客向けキャッシュバックプロモーション</li> </ul>
		<p>○中国人観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セールスプロモーション15件 (国内・中国・香港)</li> <li>・旅行会社等の招請12件 (中国・香港旅行会社の支店、メディア等)</li> <li>・旅行会社等とのタイアップ14件</li> <li>・旅行博覧会展等2件 (中国・香港)</li> <li>・中国上海における上海春秋国際旅行社との連携プロモーション</li> <li>・簡体字版ホームページ「佐賀ー純粋日本」の運営</li> <li>・微博 (ブログ) の運営</li> <li>・九州4県及びJR九州との連携による中国市場向け魅力発信事業</li> <li>・中国人FIT観光客向けガイドブック制作事業 3,000部</li> <li>・福岡空港国際観光案内所を活用した情報発信プロモーション事業</li> <li>・佐賀県観光地図 (簡体字) の増刷</li> <li>・公式WeChatの運営管理によるプロモーション</li> <li>・佐賀県公式小紅書 (RED) アカウント開設と管理運営事業</li> <li>・中国大連市の日本料理店を活用したプロモーション事業</li> <li>・公式小紅書 (RED) アカウントを活用した佐賀県FIT 観光客旅行意識調査事業</li> <li>・香港向けFacebookページの管理運営</li> <li>・香港一般消費者向けプロモーション</li> <li>・香港向けインフルエンサーを活用したプロモーション</li> </ul>
		<p>○台湾人観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セールスプロモーション5件</li> <li>・旅行会社等の招請11件</li> <li>・旅行会社等とのタイアップ7社</li> <li>・旅行博覧会展3件</li> <li>・現地配置スタッフによる情報収集、観光セミナー開催ほか</li> <li>・繁体字版ホームページ「元気佐賀」の運営、SNSを活用した情報発信</li> <li>・台湾YouTube 番組「楽吃購!日本」を活用した台湾向けプロモーション</li> <li>・「楽吃購!日本」を活用した台湾向けプロモーション</li> <li>・パンフレットの更新及び作成</li> </ul>
		<p>○東南アジア観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セールスプロモーション 12件 (国内・タイ・シンガポール・ベトナム・マレーシア)</li> <li>・旅行会社とのタイアップ4件</li> <li>・ファミトリップ5件 (シンガポール・タイ・マレーシア・ベトナム)</li> <li>・観光商談会1件</li> <li>・旅行博覧会展6件</li> <li>・個別商談会3件</li> <li>・現地会社とのプロモーション</li> <li>・タイ語Facebook情報発信 (現地取材による投稿 週1回、キャンペーン実施 年2回)</li> <li>・タイ観光客集客プロモーション向けのタイ語パンフレット更新及び増刷</li> <li>・「2024SPIRAさが国際フェスタ」でのブース出展</li> <li>・タイパワーブロッガーを活用したプロモーション</li> <li>・タイ地上波放送局 Workpoint TVの番組などを活用した総合プロモーション</li> </ul>
		<p>○欧州地域観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セールスプロモーション2回 (オーストラリア)</li> <li>・国内セールス4回 (福岡・大阪・東京)</li> <li>・東京地区セールス (VJTM 2024)</li> <li>・旅行会社へのファミトリップ2回</li> <li>・九州4県 (佐賀県、福岡県、大分県、宮崎県) 連携によるオーストラリアプロモーション</li> <li>・九州3県 (佐賀県、福岡県、長崎県) 連携によるハワイプロモーション</li> <li>・公式英語版Facebook、Instagramの作成・管理運営</li> <li>・オーストラリア向けインフルエンサー活用情報発信</li> <li>・英語版総合観光パンフレット更新及び増刷</li> <li>・英語版ベジタリアン向けレストランガイドブック作成</li> <li>・旅行会社「Deals Away」及びメディア社「Qantas TravelInsider」と連携した商品造成プロモーション</li> </ul>
		<p>○市場を超えた観光客誘致対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光マーケティング対策事業 (インバウンド観光客の動向・人流調査及び分析)</li> <li>・複合メディアによるプロモーション事業 (高付加価値旅行者を対象とした佐賀県セールスツール制作)</li> </ul>

課名	事業名	内容
	外国人観光客誘致対策事業 (一社)佐賀県観光連盟事業費補助)	(2) 受入環境整備事業 ○観光客受入環境整備支援事業 ・多言語化整備補助金 6 件 ・バリアフリー化整備等補助金 6 件 ・タクシードライバーおすすめスポット紹介ページの作成
		○観光客等サポートサービス事業 言語コミュニケーションの問題により円滑な旅行が困難な外国人観光客等をサポートするために、通訳サービスが可能なコールセンターと目的地や店舗情報などを外国語で検索ができる観光アプリ「DOGAN SHITATO?」を提供 ・コールセンター (24時間365日対応) 対応言語: 20言語 (英語、中国語、韓国語、タイ語、フランス語、ベトナム語、インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ネパール語、タガログ語、マレー語、クメール語、ミャンマー語、モンゴル語、シンハラ語及びヒンディー語) ・観光アプリ「DOGANSHITATO?」 対応言語: 5言語 (英語、中国語 (簡体字、繁体字)、韓国語、タイ語、日本語)
		○多言語メニュー作成支援事業 ・県内店舗に対し、デジタルメニューの開発、ブラッシュアップ及び多言語メニュー表の作成 (10店舗分) ・台湾人インフルエンサーによるSNSでの情報発信 ・台湾人、香港人に対するオンラインアンケート調査
	日韓海峡沿岸広域観光協議会事業	北部九州3県及び山口県と韓国1市3道 (釜山広域市、慶尚南道、済州特別自治道、全羅南道) で日韓広域観光ルート及び事業計画の検討等を行うため、第31回日韓海峡沿岸観光交流会議を開催するとともに、日韓海峡沿岸地域の観光振興のための各種事業を実施 ○日韓海峡沿岸広域観光交流会議 課長会議: R6. 7. 25  ○日韓観光客誘致交流FAMツアー事業: R6. 10. 28~R6. 10. 30 韓国 (全羅南道) にて日韓海峡沿岸8県市道所在の旅行会社等を対象としたトレッキング交流事業を内容に組み入れたFAMツアーを実施  ○国際観光博覧会共同参加事業【日韓共同事業】: R6. 11. 5~11. 7 WTM2024へ共同参加し、日韓8県市道の主要観光地等の観光素材をPR
法務私学課	私立中学校・高等学校運営費補助事業 (教育改革推進加算)	私立中学校・高等学校における運営費の中で、「次世代を担う人材育成の促進」に関する経費について補助額の加算を行った。1校あたり900千円を上限に加算した。 ・外国人指導員の配置 ・外国の学校等との交流 ・外国への留学に係る費用の助成等
自治修習所	県職員外国語習得支援	グローバル人材の育成と、語学力向上に取り組む職員の支援のため、以下を実施した。 ・自己啓発活動支援事業 (語学スクール受講等経費助成: 5名) ・自己啓発活動支援事業 (外国語検定試験受験経費助成: 20名) ・自己啓発活動支援事業 (外国語自主学習会活動経費助成: 1グループ)
有明海境再生センター環境課	日韓海峡沿岸環境技術交流事業	韓国南岸1市3道 (釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道) と九州北部3県 (佐賀県、福岡県、長崎県) 及び山口県において、環境技術、公害防止対策等に関する共同事業を実施した。 ○共同事業「日韓8県市道環境政策・研究事例発表会」の実施 R6. 10. 16 (韓国 全羅南道)
産業人材課	産業人材ステーション事業	県庁新館1階に「佐賀県のしごと相談室」を設置し、外国人材とそれらの人材を求める企業とのマッチング支援を実施 (他UJIターン転職希望者・シニア人材が対象)。相談窓口機能の強化を図るため、R1. 6月から専任相談員を配置するとともに、隔週に1日、佐賀県在住の外国人材が多く集まる国際交流プラザに派遣。R6年度における就職支援数3名。 また、県内企業、特に中小企業に対し、外国人材の雇用について、適切な情報や受入のイメージの向上につながる事例を提供することで、外国人材の活用を選択と捉えてもらえるよう企業向けセミナー及び受入企業見学を実施。 (R7. 1. 30 (参加者: 現地6社、オンライン25社)、R7. 2. 25 (参加者: 6社)) さらに、県内企業と県内外国人留学生 (大学生・短大生、専門学校生など) のマッチングを目指した交流会も実施。 (R6. 9. 6実施。参加者: 企業13社、留学生24名)

課名	事業名	内 容
流通・貿易課	輸出開拓・促進事業 (実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構 さが県産品流通デザイン公社)	<p>「さが県産品流通デザイン公社」が県産品のさらなる海外販路拡大を目指し、新たな販路獲得のため、以下の事業を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港レップによる現地活動</li> <li>・中国向け佐賀県産酒類等輸出販路促進拡大事業</li> <li>・中国華南、華東エリアにおける佐賀酒販路開拓業務委託</li> <li>・香港日系スーパー、一田(YATA)「佐賀県フェア」の開催</li> <li>・食品加工業者のための初めての輸出挑戦セミナー</li> <li>・佐賀県内事業者対米輸出支援事業</li> <li>・香港市場におけるテストマーケティングの実施</li> </ul>
	海外市場における佐賀ブランド確立事業 (実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構 さが県産品流通デザイン公社)	<p>○佐賀県農林水産物等輸出促進協議会 佐賀牛や青果物等の輸出促進を図るため、JA等と連携し、海外でのプロモーション等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港・マカオ <ul style="list-style-type: none"> <li>－小売店、スーパーでの佐賀牛、青果の販売フェア</li> <li>－展示会での佐賀県産果物、佐賀牛の販売プロモーション</li> <li>－飲食店での佐賀牛フェア</li> <li>－佐賀牛のトラム広告等事業</li> <li>－人気日系かき氷店舗でのいちごさん消費拡大プロモーション</li> <li>－在香港日本総領事館主催の天皇誕生日レセプションにおける佐賀牛プロモーション</li> </ul> </li> <li>・シンガポール <ul style="list-style-type: none"> <li>－小売店におけるいちごさんフェア</li> </ul> </li> <li>・フィリピン <ul style="list-style-type: none"> <li>－飲食店、ホテルでの佐賀牛フェア</li> </ul> </li> <li>・台湾 <ul style="list-style-type: none"> <li>－飲食店での佐賀牛フェア</li> </ul> </li> <li>・アメリカ <ul style="list-style-type: none"> <li>－在アメリカ日本国大使館における佐賀牛プロモーション</li> </ul> </li> </ul> <p>○佐賀県酒類輸出促進協議会 「佐賀酒試飲商談会 in 台北 2024」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀酒輸出を強化している台湾にて、台湾のディストリビューター協力のもと、佐賀酒のさらなる販路拡大及び新規取引開拓を目指すことを目的に商談会を実施</li> </ul>
	貿易振興事業	<p>本県における貿易の振興を図るため、ジェトロ佐賀と連携し以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易スキルアップ講座</li> <li>・米国スーパーマーケット向け商談会</li> <li>・陶磁器バイヤー招聘・商談事業</li> <li>・港湾見学会(ものづくりグローバル研究会)</li> </ul>
	佐賀牛によるEU市場参入プロジェクト事業	<p>佐賀県高性能食肉センターの欧州輸出の認証取得後、欧州への佐賀牛輸出がスムーズに開始できるよう、欧州での佐賀県産品の存在感を高める取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際食品見本市「SIAL Paris 2024」への参加</li> <li>・日本酒交流イベント「Salon du Saké」へのブース出展</li> <li>・フランスにおける日本酒コンクール「Kura Master」にスポンサーとして参加</li> <li>・在オランダ日本国大使館主催及び関連イベントにおける佐賀酒PR</li> </ul>
	佐賀牛輸出促進コンソーシアム事業	<p>佐賀県高性能食肉センターの欧州輸出の認証取得に向けて、佐賀牛の輸出関係者で組織する輸出促進コンソーシアムでの取組を支援</p> <p>○旧在アメリカ合衆国日本国大使公邸での佐賀牛現地プロモーション R6.10.21～10.23までの期間、米国ワシントンD.C.において、シェフやバイヤー等を対象とした佐賀牛のプロモーション及び市場調査を実施</p>
	EU・アジア食市場開拓ハンズオン支援事業費	<p>EU及びアジアへの輸出拡大を目指す事業者を支援する取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒類の国際コンペティションへの出品に必要な経費の一部の補助</li> <li>・フランスにおける佐賀酒及び嬉野茶のPR(飲食店でのイベント、テスト販売等)</li> <li>・フランスの酒の専門家との交流事業</li> <li>・オランダにおける佐賀酒PR(試飲会、商談)</li> <li>・シンガポールにおける県内食品加工事業者商品のPR・テスト販売</li> </ul>
	陶磁器等海外市場開拓支援事業費	<p>海外市場における陶磁器等産地事業者の商流確立と販路拡大を支援するため、テストマーケティング等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾、イギリス テストマーケティング開催</li> <li>・その他 海外バイヤー等向け佐賀の陶磁器等伝統工芸品を紹介する動画制作</li> </ul>

課名	事業名	内容
水産課	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	<p>日本側4県（山口県・福岡県・佐賀県・長崎県）と韓国側1市3道（釜山広域市・全羅南道・慶尚南道・済州特別自治道）で、資源管理の取組や養殖技術研究など海洋水産共同発展に関する情報交換等を行うことにより、日韓両地域間の相互理解と友好を深めるため、交流会議に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：R6.10.28～30</li> <li>・場所：長崎県長崎市</li> <li>・出席者：韓国側10名（釜山広域市2名、全羅南道2名、慶尚南道2名、済州特別自治道3名、通訳1名） 日本側17名（山口県4名、福岡県3名、佐賀県4名、長崎県5名、通訳1名）</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○日韓漁業者による漁業現状の理解と親睦を図るため、漁業者親睦交流を実施した。</li> <li>・日時：R6.11.20～22</li> <li>・場所：福岡県福岡市</li> <li>・出席者：韓国側14名（漁業者8名、済州特別自治道5名、通訳1名） 日本側16名（漁業者8名、山口県1名、福岡県4名、佐賀県1名、長崎県1名、通訳1名）</li> <li>○日韓水産資源維持増大のため、日韓共同・双方で共通の有用な回遊性魚種（トラフグ、クロダイ等）の種苗放流を放流した。</li> <li>・日時：R6.10.29</li> <li>・場所：長崎県長崎市</li> <li>・放流数：トラフグ 2,000尾</li> </ul>
教育振興課	グローバル社会で生きぬくSAGA人材づくり事業	<p>グローバル化の進展に対応するため、国際的視野と外国語によるコミュニケーション能力を有する小学校高学年及び中高生の育成事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中、高校生の海外留学等への助成</li> <li>・小中高を対象とする、グローバル人材育成のための講師派遣、イングリッシュ・デイ、英会話キャンプ等の実施</li> <li>・ホストファミリーバンクの整備、留学や海外からの学校交流の受入促進事業を実施</li> </ul>
学校教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	<p>本県英語教育の充実、改善のため、アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド、南アフリカから16名の青年を招致し、外国語指導助手として学校での英語指導に活用した。</p>
	外国語指導助手指導力等向上研修	<p>外国語指導助手および日本人英語教師を対象に、効果的な語学指導に必要な知識と技能の向上を目的とした参集型研修会を実施した。（R6.11）</p>

(2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業（令和6年度）

事業名	内容
情報収集・提供	外国人住民に対する地域情報の提供及びコミュニケーション支援、特に災害時や緊急時の情報発信・情報共有に役立てるため、広く県民や外国人住民が利用できる情報ネットワークを構築するとともに、ホームページやFacebook等を通じ、多言語で情報発信を行った。
情報紙「Hello Saga」の発行 (外国人向け)	外国人住民に対するコミュニケーションのため、防災・交通安全やさまざまな生活情報をやさしい日本語で記載した情報誌を作成し、外国人住民に提供した。 ・発行：年2回 各2,000部 ・配布先：賛助会員、市町、図書館、国際交流団体等
SPIRA日本語スピーチコンテスト	外国人住民の日本語学習促進のため、日本語学習の成果発表の場となる日本語スピーチコンテストを実施した。 ・日時：R6.9.29 ・参加者数：青少年部門6名、成人部門16名 計22名
地域日本語教室支援事業	外国人住民に対するコミュニケーション支援のため、外国人住民に日本語指導を行う地域日本語教室に対し、教材費等の教室運営に要する経費の助成や広報支援を行った。 ・広報支援：25グループ、費用助成：11グループ
日本語ボランティア研修会	外国人住民が日本語を習得できる環境整備のため、日本語指導ができるボランティアを養成するための研修会を実施した。 ・日時：R7.1.18、1.23 ・講師：(公財)北九州市国際交流協会 矢野花織氏、佐賀県多文化共生さが推進課市丸佳代子氏 ・参加者数：延51名
教育支援事業	日本語学習サポーターや子ども通訳サポーターの派遣、及びサポーター養成講座を実施した。 ・派遣実績：子ども日本語学習サポーター 26件 子ども通訳・メンタルサポーター 15件 ・子ども日本語学習サポーター養成講座 日程：R7.1.18、1.30、2.6、2.14、2.20 講師：久留米大学 ランブクピティア ディヌーシャ氏 他4名 参加者数：延144名
情報誌「Hello Saga」の発行 (日本人向け)	県内の国際交流・協力や多文化共生事業に関する情報誌を作成し、情報提供を行った。 ・発行：年4回 各2,000部 ・配布先：賛助会員、市町、図書館、国際交流団体等
SPIRA出前講座	異文化や多文化共生、国際協力の理解促進のため、県内在住の外国人住民や協会職員、県内民間国際協力団体の海外経験豊富な日本人を講師として派遣・紹介し、外国の習慣や文化、多文化共生に関する講座を開催した。 ・派遣件数：76件 ・派遣講師数：115名(延べ) ・受講者数：5,260名
国際交流・協カイベント事業	国際交流・協力・多文化共生に対する理解を深め、活動への参加を促すため、県内の民間国際交流団体やボランティアと協働し、国際交流・協カイベントを実施した。 ・国際フェスタ ・日時：R6.11.24 ・場所：どんどんの森 来場者約1,800名 ・Sagan World Cup 2024(フットサル大会) ・日時：R6.12.15 ・場所：駅前不動産スタジアム(鳥栖市) ・参加者：20チーム(25か国 約230名)
多文化共生等助成事業	県内の多文化共生の地域づくりのため、県内の国際交流団体等が行う多文化共生事業、国際交流事業、国際協力事業に要する経費の一部を助成した。 ・助成件数：多文化共生事業 7件 国際交流・協カ事業 3件
多文化共生情報発信事業	地域社会全体の意識啓発や外国人住民の自立及び社会参画を促進するため、外国人住民等による多文化アート展の開催やラジオ放送を実施した。 ・ラジオ放送(えびすFM) 毎月1回(年間12回)

(3) 市町の事業（令和6年度）

市 町 名	事 業 名	事 業 の 概 要
佐 賀 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年招致事業</li> <li>・留学生奨学金給付事業</li> <li>・釜山広域市蓮堤区との交流</li> <li>・クサク村との交流</li> <li>・日本語学習推進事業</li> <li>・ウクライナからの避難民支援</li>   <li>【民間団体等の主催事業】</li> <li>○佐賀市国際交流協会</li> <li>・国際理解講座</li>   <li>・在住外国人によるパネルディスカッション</li> <li>・留学生、技能実習生オリエンテーション</li> <li>・国際家庭料理講座</li> <li>・子育て支援事業</li>   <li>・バルーンフェスタホームステイ事業</li> <li>・スポーツ交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員（CIR）1名</li> <li>・私費留学生に対し、月額20,000円を助成（15名）</li> <li>・公式訪問団を派遣（5名）。また、民間交流である佐賀市内小学校と蓮堤区のトヒョン初等学校との交流において、蓮堤区からの児童訪問団を小学校へ受け入れる活動を一部支援</li> <li>・公式訪問団を受け入れ（中学生11名、引率者4名）</li> <li>・日本語学習支援者養成講座（入門編）を3回実施</li> <li>・佐賀県とCSO（民間団体）と佐賀市の3者で避難民の受入支援プログラム（SAGA Ukeire Network）を構築し、避難民支援を実施</li>   <li>・多文化理解・多文化共生講座2回開催。国際ワールドツアー音楽編として、参加型演奏会を開催。ミャンマー・ネパール編として、行事や観光地紹介を開催（参加者数54名）</li> <li>・在住外国人をパネリストとして迎え、「朝活・就活・推し活・就活」をテーマとし実施（参加者数35名）</li> <li>・西九州大学・短期大学の新入留学生を対象に、防災・交通安全などの講座を開催（参加者数148名）</li> <li>・料理を作りながら交流を深めるために、ポーランド料理講座、クリスマス料理講座、中国料理講座を開催（参加者数54名）</li> <li>・参加者同士のネットワークの構築に努めるために、外国に繋がる子どもと保護者を対象に、困りごとに関する相談会を開催（参加者数12名）。また、新1年生になる子どもを持つ保護者を対象に、入学準備に向けたサポートを佐賀市教育委員会と連携し開催</li> <li>・市民団体さが♥わーどりんぐと共催で、保護者の悩みを聞く場や子ども同士の交流からネットワーク構築を図るため、意見交換会やワークショップを開催（参加者数212名）</li> <li>・「2024 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」開催時に外国選手チームのホームステイのアレンジ（受入人数43名9か国）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初級日本語集中講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン、卓球、バスケット他軽スポーツを通して市民との親睦を図るための交流会を開催（参加者数 40 名 10 か国 1 地域）</li> <li>・日本語学習をスムーズに進めてもらうため、在住外国人を対象に、日本語集中講座を 2 回開催し、初級を終了した学習者を対象に中級講座を 1 回開催した（受講者数 10 名）</li> </ul>
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中韓囲碁大会</li> <li>・唐津市・西帰浦市姉妹都市締結 30 周年記念事業</li> <li>・第 15 回済州国際青少年フォーラム</li> <li>・「やさしい日本語」職員研修</li> <li>・ALT と市内中高生による料理教室</li> <li>【民間団体等の主催事業】</li> <li>・まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会</li> <li>・唐津日本語教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市である中国揚州市、韓国麗水市と囲碁を通じた交流大会を実施。三都市持ち回りで毎年開催しており、令和 6 年は麗水市で開催。（唐津市から 11 名が参加。）（R6. 10. 23～25）</li> <li>・韓国西帰浦市と令和 6 年に姉妹都市締結 30 周年を迎えたことから、西帰浦市で記念事業を開催（唐津市から 18 名が参加。）（R6. 11. 15～17）</li> <li>・各国の学生が参加し、グローバル課題について討論することで、国際感覚の醸成と文化的多様性に対する相互理解の促進を目的として、済州特別自治道教育が開催。（唐津市から高校生 3 名、教師 1 名が参加。）（R6. 10. 29～11. 2）</li> <li>・窓口や公文書を作成する際に外国人に配慮した対応ができるよう、窓口対応職員などを対象に「やさしい日本語」研修を実施。（市職員 28 名が参加）（R6. 12. 2）</li> <li>・市内中高生の多文化共生意識の醸成や国際交流の意欲向上を目的に、ALT を講師に招き、講師の出身国であるジャマイカとカナダの料理教室を開催。（市内中高生 18 名が参加）（R6. 12. 7）</li> <li>・百済武寧王を通じた韓国公州市との交流（加唐島での武寧王生誕祭の開催、韓国で開催される百済文化祭への参加）</li> <li>・在留外国人とのインドネシア料理交流会を開催。（23 名が参加）</li> </ul>
鳥栖市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥栖・ツァイツ子ども交流事業</li> <li>・国際交流団体との懇談会</li> <li>・こくさいカフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツァイツ市の学生 10 名と引率 2 名を受入。ホームステイを通じて交流を図った（R6. 7. 16～7. 29）</li> <li>・市内の国際交流団体との会議を開催（7 回）。</li> <li>・市内の国際交流団体との共催で「こくさいカフェ」を 3 回開催。 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt; 1 回目 &gt; まちづくり推進センターで、スピーチやジェスチャーゲームなど、日本人と外国人の交流会を実施 （日本人及び海外 5 か国から 88 名が参加）（R6. 9. 8）</li> <li>&lt; 2 回目 &gt; 街歩きイベント「とす長崎街道まつり」に参加 （日本人及び海外 4 か国から 52 名が参加）（R6. 10. 20）</li> <li>&lt; 3 回目 &gt;</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人のための日本語教育事業</li> <li>・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」</li> <li>・やさしい日本語クイズ</li> <li>・がいこくじんのかたへ</li> <li>・出前講座</li> <li>・「やさしい日本語」職員研修</li> </ul>	<p>市内の商業施設の舞台で各国の踊りや音楽等を披露するショーを開催。 (日本人及び海外5か国から30名が参加) (R7.2.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活者としての外国人」のための日本語教室を実施(全12回、外国人延べ56名/にほんごパートナー延べ54名参加)</li> <li>・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」を市報の奇数月号に掲載</li> <li>・やさしい日本語クイズを市報の奇数月号に掲載</li> <li>・市ホームページに、生活情報や各種相談、自転車のルールなどについて、やさしい日本語と多言語で掲載</li> <li>・市職員が地域に出向き、多文化共生や「やさしい日本語」について説明(①R6.5.21・17名、②R6.12.7・31名、③R6.12.12・31名、④R6.12.16・20名)</li> <li>・市役所の職員を対象に、「やさしい日本語」職員研修を開催。その際に市内の日本語学校の留学生も参加して「やさしい日本語」を使った実践での会話の練習を実施(参加者数30名、留学生5名)(R6.11.19)</li> </ul>
多 久 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年招致事業</li> <li>・国際交流事業</li> <li>・義務教育学校における短期留学生制度事業</li> <li>・多久日本語教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手(ALT)3名の活用</li> <li>・孔子第79代嫡孫孔垂長様ご一行来訪対応(R6.4.18 多久聖廟)</li> <li>・市内義務教育学校生徒(9年生1名、8年生1名)がアメリカで短期間ホストファミリー宅に滞在</li> <li>・地域に居住された外国人に日本語の教室(週1回)</li> </ul>
伊 万 里 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域日本語教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営地域日本語教室「Awesome IMARI」計13回実施、延べ参加者数620名。        &lt;第1回&gt;        「着付け教室 IN 大川内山」、参加者18名 (R6.7.15)        &lt;第2回&gt;        「国際 DAY キャンプ IN すみやま」、参加者52名 (9.7)        &lt;第3回&gt;        「自転車教室」、参加者34名 (9.22)        &lt;第4回&gt;        「Pepper と学ぼう! 防災教室」、参加者37名 (10.6)        &lt;第5回&gt;        「和菓子作り」、参加者19名 (10.24)        &lt;第6回&gt;        「コキアを見ながら国際 DAY キャンプ IN 川内野」、参加者68名 (11.9)        &lt;第7回&gt;</li> </ul>

	<p>○伊万里市国際交流協会 ・日本語指導者養成講座（オンライン）</p> <p>○伊万里市日中友好協会 ・大連市訪問</p> <p>○伊万里市国際交流協会 ・中国語教室</p> <p>○佐賀県日中友好協会 ・中国語スピーチコンテスト</p> <p>○県国際交流協会 ・市民公開講座</p>	<p>「指導者養成講座実践：聞き方の教育」、参加者 9 名（11.10） ＜第 8 回＞ 「さが国際フェスタ」、参加者 15 名（11.24） ＜第 9 回＞ 「タウンミーティング IN 啓成中学校」、参加者 133 名（11.29） ＜第 10 回＞ 「国際交流ひろば」、参加者 91 名（R7.1.25） ＜第 11 回＞ 「キムチづくり」、参加者 31 名（R7.2.7） ＜第 12 回＞ 「着物姿で古伊万里通りのおひなさまを見に行こう」、 参加者 28 名（R7.3.2） ＜第 13 回＞ 「ボウリング大会」、参加者 85 名（R7.3.16）</p> <p>・講師：文化庁地域日本語教育コーディネーター しょう けつ 章 潔 (R6.5.13～R7.3.24 の毎週月曜日 10:30～11:30、計 30 回、受講者 19 名) ・第 1～15 講：聞き方・話し方の教育 ・第 15～30 講：読み方・書き方の教育</p> <p>・大連市中日友好協会からの招聘に、市日中友好協会の 23 名が 「第 6 回中日（大連）十都市千人アカシアウォーキング大会」 に参加（R6.5.24～27）</p> <p>・中国語教室が市民活動支援センターで開講 ・講師：全日本中国語スピーチコンテスト佐賀県大会審査員長 章 潔 初級クラス：R6.7.3～12.11 の毎週水曜日 13:30～14:30、計 20 回、受講者 7 名 中級クラス：R6.7.3～11.27 の毎週水曜日 15:00～16:00、計 11 回、受講者 3 名</p> <p>・「第 42 回中国語スピーチコンテスト佐賀県大会」に、伊万里市 中国語教室から計 4 名が参加 【学生・朗読の部】：原明穂（第 2 位） 【一般・朗読の部】：吉永雅子（第 3 位） 【一般・暗誦の部】：佐藤和幸（第 2 位）（R6.10.20）</p> <p>・第 7 回「中国を知る」市民公開講座（計 3 回）開催 ・講師：市多文化共生マネージャー 章 潔 ・第 1 講：中国茶の種類 (R6.10.23 18:30～19:30、受講者数：14 名) ・第 2 講：中国茶の歴史 (10.30 18:30～19:30、受講者数：17 名) ・第 3 講：プーアル茶とビジネス (11.6 18:30～19:30、受講者数：19 名)</p>
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日韓友好協会</li> <li>・クリスマスフェスタ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日韓友好協会主催の「クリスマスフェスタ」が JR 伊万里駅前公園で開催。参加者約 200 名 (R6. 12. 8)</li> </ul>
武 雄 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人向け相談窓口の設置</li> <li>・人づくり・まちづくり事業補助金</li> <li>・ALT主催のクリスマス会</li> <li>【民間団体等の交流事業】</li> <li>○たけお日本語教室</li> <li>○たけおワールドフレンズ (TWF)</li> <li>○ICE-T</li> <li>○OT to A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日 (土日祝日除く) の9時から17時に開設し、やさしい日本語で対応。その他言語は、県の機関と連携し対応。</li> <li>・国際交流事業として、個人または団体の旅費に対し、補助対象者1名につき80,000円 (支給条件あり)</li> <li>・毎年12月に、市内小学生に希望者を募り、教育委員会 (ALT) 主催で交流イベント開催。</li> <li>・毎月第1、第2、第3土曜日にボランティア運営で在住外国人向けの日本語教室を開催。</li> <li>・1985年から旧山内町とセバストポール市 (アメリカ) で国際姉妹都市協定を締結 (2011年に新市で再締結)。青少年の交流を中心に活動している。 R7. 3月にセバストポール市より、中学生16名、大人17名が武雄に滞在し、交流を深めた。交流40周年を記念し、40周年記念式典及び記念植樹を行った。</li> <li>・食文化やスポーツを通じた日本人と在住外国人との交流イベントの開催。R6. 12. 8には「たけお TOMODACHI フェスタ」を開催。</li> <li>・子どもたちを中心に多文化交流の各種イベント開催。 R6. 5. 11 HIKARI フェア R6. 12. 22 クリスマスマルシェ</li> </ul>
鹿 島 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釜山外国語大学校との交流</li> <li>・外国青年招致事業</li> <li>・タイ王国 チェンマイ市・チェンマイ大学訪問</li> <li>・多文化共生タウンミーティングの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第40回鹿島ガタリンピックに教授・学生ら30名が参加、釜山外大韓国語短期研修に鹿島高校生3名が参加、釜山外国語大学校へ訪問 (市から5名)</li> <li>・外国語指導助手 (ALT) 2名の活用</li> <li>・鹿島市⇄チェンマイ市、佐賀大学⇄チェンマイ大学の構図で、相互の連携強化を図る国際ビッグバンプロジェクトオープニングセレモニーへの招待。同プロジェクトによる本市のまちづくりに関する研究成果の展示会の視察。チェンマイ市役所、在チェンマイ日本国総領事館、チェンマイ大学の訪問・意見交換。</li> <li>・鹿島に住んでいる外国人住民と「やさしい日本語」を使った交流会を開催。鹿島のいいところや課題を、同じ「住民」「生活者」として地域でできることを考えるきっかけとした。参加者21名 (内訳：外国籍市民5名、日本人16名)</li> </ul>
小 城 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校外国語講師活用事業</li> <li>・小城市二十歳の式典</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手 (ALT) の活用、民間講師7名 (小・中学校の英語教育及び英語活動実施)</li> <li>・英語表記を追加した式典リーフレットを式典参加者に配布</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国浙江省海鹽県との交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海鹽県民と小城市民の絵画・書道による交流（海鹽県民の作品を市内公共施設および中学校で巡回展示）</li> </ul>
嬉野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年招致事業</li> <li>・在住外国人向け日本語教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT）1名の活用</li> <li>・国際交流員（CIR）1名の活用</li> <li>・地域日本語教室「カフェこくさいじん」を実施（月2回）</li> </ul>
神崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い翼プロジェクト実行委員訪問対応（R6.11）</li> <li>・やさしいフランス語講座の実施（R7.2）</li> <li>・韓国霊岩郡 朗州（ナンジュ）中学校との交流（神崎中学校） 神崎中学校の生徒14名が韓国霊岩郡 朗州（ナンジュ）中学校を訪問（R6.11.26(火)～11.29(金)）</li> </ul> <p>[訪問人数] 生徒14名、引率職員 5名</p> <p>[交流内容] お互いの学校や文化等の紹介 (神崎中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーラン節披露</li> <li>・空手実演</li> <li>・けん玉披露</li> </ul> <p>(朗州中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テコンドー実演</li> <li>・K-POPダンス披露</li> <li>・チマ・チョゴリ着付け体験</li> <li>・茶道体験</li> <li>・韓国の伝統遊び体験</li> </ul> <li>・韓国霊岩郡 三湖西（サムホソ）中学校との交流（千代田中学校） 千代田中学校の生徒15名が韓国霊岩郡 三湖西（サムホソ）中学校を訪問（R6.11.26(火)～11.29(金)）</li> <p>[訪問人数] 生徒14名、引率職員 1名体調不良により不参加</p> <p>[交流内容] お互いの学校や文化等の紹介 (千代田中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーラン節披露</li> </ul> <p>(三湖西中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の歌謡曲演奏披露</li> <li>・VRを用いた学習体験</li> <li>・チマ・チョゴリ着付け体験</li> </ul> <li>・中国 山西大学附属中学校との交流（脊振中学校） 脊振中学校の生徒6名が中国 山西大学附属中学校を訪問（R6.8）</li>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生事業</li> <li>・韓国霊岩郡交流事業</li> </ul>	<p>歓迎セレモニー：挨拶、記念品の相互贈呈、学校見学など 生徒交流会：学校紹介、文芸の相互披露、写真撮影及び交流</p> <p>ホームビジット：山西大学附属中学校生徒宅3戸に、脊振中学校生徒各2名が、随行者1名、通訳者1名と共に来訪し滞在</p> <p>市内視察 (1) 山西省太原市内視察：①崇善寺、②太原市碑林公園、③山西省立山西博物院 (2) 北京市内視察：①天壇公園（明・清王朝時代皇帝の祈禱場）＊世界遺産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室の実施(毎月1回、計12回実施)</li> <li>・霊岩郡訪日団を受入れ、歓迎晩餐会開催（R6.11）</li> </ul>
吉野ヶ里町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年招致事業</li> <li>・日本語教室スタートアッププログラムの活用（4年目）</li> <li>・広報紙掲載</li> <li>・外国人と日本人の交流イベント</li> <li>・教室活動のボランティア養成</li> <li>・地域日本語教室（交流型）開催</li> <li>・教室の広報活動</li> <li>・企業連携を見据えた活動</li> <li>・外国人ニーズ調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT）2名の活用（在留外国人講師）</li> <li>・文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業地域日本語教育スタートアッププログラム活用（R3.4～）</li> <li>・1年間、町の広報誌に日本語教室コーナーを掲載</li> <li>・6月：外国人×日本人のしゃべり場を開催</li> <li>・5月・10月：日本語教室ボランティア養成講座</li> <li>・日本語教室「meet up よしのが里」開催（R6.6～R7.2 計8回）</li> <li>・9月：イベントに学習者と一緒に出店。教室の広報活動として</li> <li>・10月：企業向け講演会</li> <li>・11月：町内在住外国人を対象にアンケートを実施</li> </ul>
基山町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしい日本語」研修会開催</li> <li>・基山町主催日本語教室の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町職員向けに「やさしい日本語」研修会を開催</li> <li>・基山町に在住の外国籍町民を対象とした日本語教室を開催し、ごみの出し方や分け方の勉強を行い、その後、簡単なゲームを行った。</li> </ul>
上峰町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年招致事業</li> <li>【民間団体等の主催事業】</li> <li>○佐賀県教育振興課</li> <li>・English Day</li> <li>○佐賀県学校教育課</li> <li>・英会話体験プログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT）1名の活用</li> <li>・参加者名 187名（上峰小5・6年生、年2回）</li> <li>・参加者約 15名（上峰中）</li> </ul>
みやき町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室</li> <li>【民間団体等の主催事業】</li> <li>・国際交流食文化交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内在住外国人を対象にした日本語教室を開催（毎月1回）</li> <li>・フィンランド人出身の講師を招いてフィンランド料理作りを実施</li> </ul>
玄海町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年招致事業</li> <li>・国際交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT）1名の活用</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語活動</li> <li>・保小連携英語活動</li> <li>・多文化共生&lt;原子力防災勉強会&gt;</li> <li>・【民間団体等の主催事業】</li> <li>○ (公) 佐賀県国際交流協会</li> <li>・多文化共生理解出前講座</li> <li>・海外研修等助成事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄海みらい学園と姉妹校のオーストラリアコロワルスクールを訪問（生徒10名）し、学校間交流を実施。</li> <li>・海洋教育と国際交流の一環として、台湾の鼻頭小学校とオンライン交流を実施。</li> <li>・英語教育及び異国文化理解学習の実施（九州産業大学訪問（5・6年生））</li> <li>・友好姉妹都市の韓国釜山広域市機張郡の首長、交流のあるフランスグラブリーヌ町の首長、インターンシップを受け入れている釜山外国語大学校に対する挨拶状交換</li> <li>・台湾小学校校長訪問団交流</li> <li>・玄海町花火大会への釜山外国語大学関係者の受け入れ</li> <li>・週に1回、低学年を対象に英語あそびを実施</li> <li>・保育園及び玄海みらい学園で交流活動を実施</li> <li>・2園合同での国際理解活動（アメリカデー、ハロウィン、クリスマス、イースター）</li> <li>・月1回の英語活動</li> <li>・県の主催で、原子力防災に関する勉強会を町内に住んでいる外国人の方を対象に実施</li> <li>・参加者数：130名（玄海みらい学園3～5年生児童）</li> <li>・町内在住の中学生が民間等の留学プログラムに参加した場合、費用の一部を助成（参加者3名）</li> </ul>
<p>有 田 町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年招致事業</li> <li>・英会話教室</li> <li>・英語ガイド</li> <li>・日本語教室</li> <li>・外国人対応セミナー</li> <li>・国際交流員による来訪者案内</li> <li>・有田・マイセン姉妹都市提携45周年記念事業（相互訪問）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT）1名活用（R4.8～）</li> <li>・国際交流員（CIR）1名の活用</li> <li>・有田町民などを対象に英会話教室を開催（毎月2回）</li> <li>・有田観光協会が主催する、町内の観光ガイドを対象とした英語ガイド学習会にCIRを講師として派遣</li> <li>・町内在住外国人を対象にした日本語教室を開催（毎週1～2回）</li> <li>・有田を訪れる外国人のお客様への対応スキル向上を図るため、有田観光協会が主催する英語講座にCIRを講師として派遣（毎年1月～3月 計8回） ※令和6年度は参加者が少なく開催見送り</li> <li>・ドイツなど諸外国からの表敬訪問時の通訳及び町内観光案内等</li> <li>・姉妹都市45周年を記念し、有田町長訪問団がマイセン市を訪問し小学校姉妹校調印に向けた協議や、姉妹都市提携50周年事業、マイセン市創立1100年、マイセン有田友好協会設立35周年などの各周年事業について協議を行った。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有田小学校とアリタ小学校マイセン姉妹校提携</li> <li>・有田小学校とアリタ小学校マイセン児童によるオンライン交流</li> </ul> <p>【民間団体の交流事業】</p> <p>○陶都有田国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語ツアー</li> <li>・外国文化ふれあい事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じく姉妹都市 45 周年記念事業として、マイセン市長訪問団が秋の有田陶磁器まつり期間中に有田町を訪問。小学校姉妹校提携調印式と歓迎会に参加。</li> <li>・令和元年に設立され、令和 5 年度よりオンライン交流を実施しているアリタ小学校マイセンと有田小学校との間で姉妹校提携の調印式を実施。調印式後には有田小学校の児童によるマイセン市訪問団の歓迎会や記念植樹を行った。</li> <li>・お互いの小学校児童による町・学校の紹介するなどの交流をオンラインで実施</li> <li>・国際交流員が外国人を対象に英語による町内ツアーや、町内小学生向けの文化交流イベント等を実施</li> </ul>
大 町 町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年雇用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手 2 名の活用</li> </ul>
江 北 町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年招致事業</li> <li>・海外自治体交流事業</li> <li>・学校交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT） 1 名の活用</li> <li>・オーストラリア及びニュージーランドの首長や議員、自治体連合等の代表者を江北町に受入れ、町行政等の現状及び課題について意見交換及び情報交換</li> <li>・オーストラリアの学校との令和 7 年度の交流（受入）に向け、担当者オンラインミーティングを実施</li> <li>・幼少期から英語に触れ合ってもらい、英語を学ぶ意欲を育てるため、園児や小学生を対象とした公民館講座「えいごであそぼう♪」を 2 回実施</li> </ul>
白 石 町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年語学指導助手設置</li> </ul> <p>【民間団体の交流事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しろいし WA！WA！WA！日本語交流教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT） 3 名の活用</li> <li>・在住外国人への日本語交流教室及びイベントの開催。町とボランティア協働で実施</li> </ul>
太 良 町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生タウンミーティング</li> <li>・日本語教室たらんば♪おためし会</li> <li>・観光客誘客事業（太良町と台東県相互交流事業）</li> <li>・観光客誘客事業（太良町とラーチーゴ一日本タイアップによるアンバサダーキャンペーン事業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と共催で、地元企業で働く外国人と中学生との交流会を実施（計 2 回）</li> <li>・R 7 年 4 月からの毎月開催に向けて、おためしで開催。（R 7. 2）</li> <li>・「多良駅」という同名駅を持つ台東県を、町長や町内観光関連事業者、太良町台湾台東県交流大使（町民 2 名）らが訪問し、現地の行政担当者と今後の相互交流の実施について会談。また、相互交流できそうな事業所、学校の視察。</li> <li>・台湾から太良町的美食宣伝大使（太良町美食アンバサダー）を募集・招請し、太良町の魅力を発信してもらうことによりインバウンドの拡大を図る。</li> </ul>

2. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 全国の状況

(ア) 全国自治体別友好姉妹提携数（令和7年3月31日現在）

・都道府県	43都道府県	174組
・市町村	市・区	1,340組
	町・村	327組
	合計	1,841組

(イ) 全国相手国別友好姉妹提携数一覧

(令和7年3月31日現在) (単位: 件)

地域名	国・地域名	都道府県	市 区	町 村	合計
北米	アメリカ	27	363	77	467
	カナダ	2	42	28	72
中南米	コスタリカ		2		2
	ジャマイカ	1			1
	チリ		1		1
	パナマ		1		1
	パラグアイ		2		2
	ブラジル	11	36	11	58
	ペルー		2	3	5
	ボリビア	1			1
	メキシコ	3	5	3	11
	アイルランド			1	1
欧州	アゼルバイジャン		1	1	2
	イギリス	4	9	4	17
	イタリア	5	27	7	39
	ウクライナ		2		2
	エストニア		2		2
	オーストリア		27	4	31
	オランダ		9	2	11
	ギリシア		5	3	8
	クロアチア		3		3
	スイス	1	9	3	13
	スウェーデン		3	1	4
	スペイン	3	9		12
	スロバキア			1	1
	スロベニア		1		1
	セルビア		1		1
	チェコ		2	2	4
	デンマーク		4	2	6
	ドイツ	6	43	9	58
	ノルウェー		3	1	4
	ハンガリー		4	1	5
	フィンランド		2	3	5
	フランス	7	39	9	55
	ブルガリア		2		2
	ベラルーシ		1		1
	ベルギー		8		8
	ボスニア・ヘルツェゴビナ			1	1
	ポルトガル		7		7
ポーランド			2	2	
モルドバ		1		1	
ラトビア		1	1	2	
リトアニア		2		2	
ルーマニア		2	1	3	
ロシア	11	33	4	48	

地域名	国・地域名	都道府県	市 区	町 村	合計
大洋州	オーストラリア	6	78	24	108
	ニュージーランド		30	14	44
	パプアニューギニア		1		1
	パラオ	2			2
	マーシャル諸島			1	1
アジア	インド	3	3		6
	インドネシア	4	2	1	7
	カンボジア		1	1	2
	スリランカ		3		3
	タイ	2	4		6
	ネパール		3	1	4
	バングラデシュ		1		1
	フィリピン	1	15	6	22
	ブータン		1		1
	ベトナム	3	4	1	8
	マレーシア		3	1	4
	ミャンマー		1		1
	モンゴル	2	7	1	10
	韓国	19	122	28	169
中国	47	292	43	382	
台湾		42	19	61	
中東	アラブ首長国連邦	1			1
	イスラエル		1		1
	ウズベキスタン	1	1		2
トルコ		5	2	7	
アフリカ	ウガンダ		1		1
	エジプト	1			1
	カメルーン		1		1
	チュニジア		1		1
合計	174	1,340	327	1,841	

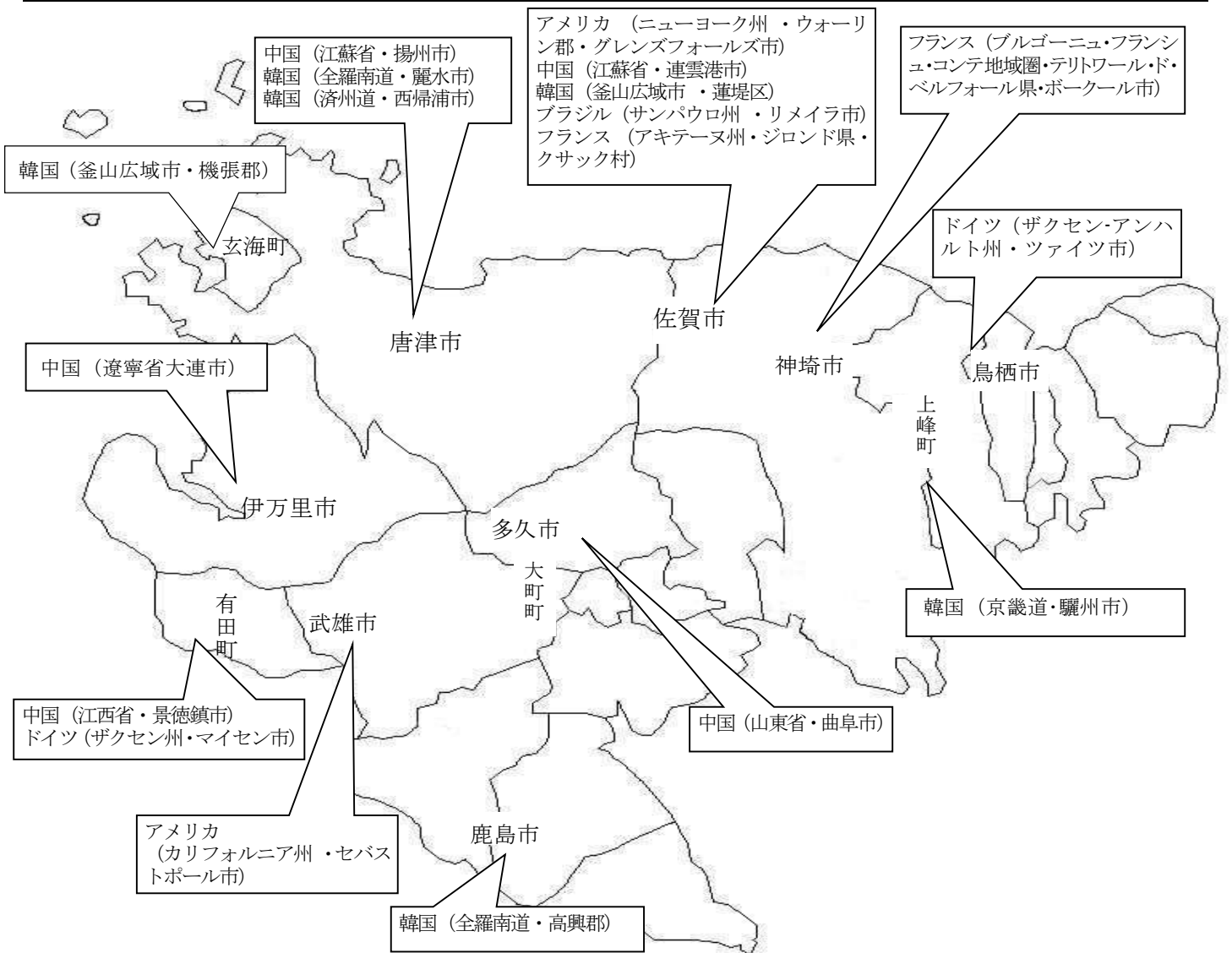
□相手国・地域数 73か国・地域 (うち都道府県提携分 26か国)

調: 一般財団法人自治体国際化協会

イ 佐賀県の状況

(ア) 相手国別友好姉妹提携一覧

相手国	佐賀県	市町											計
		佐賀	唐津	鳥栖	多久	伊万里	武雄	鹿島	神埼	上峰	玄海	有田	
アメリカ		1					1						2
中国		1	1		1	1						1	5
韓国	1	1	2					1		1	1		7
フランス		1							1				2
ドイツ				1								1	2
ブラジル		1											1
計	1	5	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	19



## (イ) 県の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀県	韓国 全羅南道 平成 23 年 1 月 25 日	平成 4 年から日韓海峽沿岸県市道知事会議において関わりがあり、平成 8 年から職員の相互派遣による交流を開始し、同年には友好訪問団を派遣。これまで佐賀県から 18 名の職員を全羅南道に派遣し、全羅南道の職員を 19 名受入れている。こうした関係を踏まえ、幅広い分野での交流を目的として、友好交流協定を締結した。
佐賀県 (参考)	* 中国 遼寧省 平成 23 年 10 月 25 日	平成 7 年から交流を開始。平成 11 年からは職員交流を開始し、佐賀県から 7 名の職員を遼寧省政府に派遣、遼寧省から 13 名の職員の受入を行っている。こうした取組みにより、両者間の強固な関係が構築されてきたことを受け、友好協力パートナーシップの確立に関する協定を締結した。
	* 中国 貴州省 平成 24 年 2 月 13 日	平成 11 年から交流を開始し、これまで佐賀県側から農業分野での技術協力を中心に行ってきた。平成 24 年からは職員交流を開始し、佐賀県から 3 名の職員を貴州省政府に派遣、貴州省から 5 名の職員の受入を行っている。また、訪問団の相互派遣を行うなどして両者間の信頼関係を築いてきたことを背景とし、さらなる交流発展を目的として、友好交流に関する合意書を交わした。

\* 中国（遼寧省）については友好姉妹都市連携ではなく「友好協力パートナーシップの確立に関する協定」の締結であり、中国（貴州省）については、「友好交流に関する合意書」を交わしている。

## (ウ) 市町の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀市	アメリカ ニューヨーク州 グレンズフォールズ市及びウォーリン郡 昭和63年9月23日	昭和61年、佐賀インターナショナルバルーンフェスタに、アメリカ・グレンズフォールズ市のチームが参加したのを機に、バルーンが盛んであるという共通点に加えて、自然・歴史・文化面でも共通点が多いことから姉妹提携に至った。
	韓国 釜山広域市・蓮堤区 平成10年10月9日	民間のゲートボール交流が始まりで、10年来の交流が続いている。行政や青少年の交流の深まりを受けて、真の隣人としての友好と相互理解を期して姉妹都市の締結をした。
	中国 江蘇省・連雲港市 平成10年11月27日	徐福がきっかけで、平成10年以来相互交流を続けてきた。アジアの隣人としての市政レベルでの友好促進を目指して友好都市の締結をした。
	ブラジル サンパウロ州 リメイラ市 昭和56年4月16日	双方に工場を持つ「味の素(株)」が仲介役となり、姉妹都市提携に至った。リメイラ市、旧諸富町共に農業を中心とした商工都市であるという点から、お互いに多面的交流をすることにより、お互いの交流にも役立つということから姉妹都市提携した。
	フランス アキテーヌ州 ジロンド県クサク村 昭和63年4月19日	良質なワインの産地として知られるフランスのクサク村と「どんぐり村」の開発により地域の活性化を図る三瀬村との姉妹都市提携に至った。
唐津市	中国 江蘇省・揚州市 昭和57年2月22日	昭和47年の日中国交正常化以来、日中両国の友好促進に寄与するため、中国のいずれかの都市と友好関係を結ぶ計画がなされ、昭和53年の第1次から昭和56年の第4次まで、市、市議会、市民の各界代表を中国に派遣し、古き文化遺産と風光美の中にも生産都市としての調和を図りながら、今後一層の発展が期待される揚州市を選定し、友好都市締結に至った。
	韓国 全羅南道・麗水市 昭和57年3月5日	唐津市と麗水市は地理的にも密接な関係があり、昭和45年唐津ロータリークラブの姉妹結縁を皮切りに、各種民間5団体が次々と姉妹結縁されたことにより、市民ぐるみの気運が高まり姉妹都市締結に至った。
	韓国 済州特別自治道・西歸浦市 平成6年9月14日	平成3年、西歸浦市が下水道建設の視察で唐津市を訪れたことがきっかけとなり、ハウスミカン施設、水産加工施設等視察や議員団の相互訪問で親善を深め合い、人口、農産業、観光など良く似ていたことから姉妹都市締結に至った。

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
唐津市	* 中国 大連市旅順口区 平成16年4月27日	平成14年に唐津港関係者が旅順口区にポートセールスのために訪れたことがきっかけとなり、以降、経済・産業各分野の交流を中心とした活動を推進してきた両市は友好交流意向書締結に至った。
	* アメリカ合衆国 グアム準州 平成25年7月24日	平成24年1月から始まった唐津産石材のグアム輸出事業がきっかけとなり、以降、経済・教育・文化・スポーツ・観光などの広範な市民交流の推進に向けた友好交流意向書の締結に至った。
鳥栖市	ドイツ ザクセン-アンハルト州・ツァイツ市 平成24年5月18日	映画「月光の夏」のモデルとなった「フッペルのピアノ」をきっかけに、ドイツ国ツァイツ市との交流が始まり、ツァイツ市長をはじめとする公式訪問団5名が本市を訪れ、友好交流都市協定を締結した。(H24.5.17~22)
多久市	中国 山東省・曲阜市 平成5年11月23日	多久市は、儒学を学んだ多久邑主・多久茂文が宝永5年に孔子廟（現在呼称多久聖廟）を完成させた。その後、孔子の誕生の地である曲阜市との交流を図るため、昭和59年から市、市議会、市日中友好協会、市民の各界代表を中国に派遣し、文化交流を図るため、両市の友好都市締結に至った。
伊万里市	中国 遼寧省・大連市 平成19年5月26日	昭和62年の訪問を契機に代表団、友好訪問団等の相互訪問をはじめ、行政、水産、農業分野等の研修生受入などの交流を続けている。交流20周年の節目にあたり、友好交流・協力関係のますますの強化を申し合わせ、友好交流都市の締結をした。
武雄市	アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市 昭和60年3月27日	「地球市民の会」古賀武夫氏とセバストポール市のウェンディ・グロイド氏（女性）との交流の中で交流親善の話があり、似通った都市として旧山内町が選ばれ締結に至った。合併後も姉妹都市提携し、継続して交流を行っている。
鹿島市	韓国 全羅南道・高興郡 平成9年1月22日	鹿島市と高興郡は、同じ干潟を持つ縁で、昭和63年から「鹿島ガタリンピック」を通して毎年交流を重ね、友好結縁締結に至った。
神埼市	フランス ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地域圏・ テリトワール・ド・ベルフォール県ボークール市 平成8年10月27日	昭和11年にフランスの飛行家アンドレ・ジャッピー氏が脊振山中に墜落し村民が救出したことから交流が始まり、平成7年6月にはボークール市を友好訪問、そして平成8年10月27日に友好姉妹都市の提携を結んだ。

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
上峰町	韓国 京畿道驪州郡 平成16年11月11日 (再締結) 京畿道驪州市 平成25年9月24日	日韓剣道文化交流事業を通して知り合った驪州郡出身の大学教授に驪州郡を紹介していただき、平成13年から行政及び議会による相互交流を行い、親睦を深めてきた。上峰中学校と大神中学校による学校間交流を推進し、親密な関係を築き上げ、平成16年8月に姉妹校を締結した。数々の交流事業を重ね、相互理解と友好関係を深め平成16年11月に友好都市締結。また、驪州郡が驪州市へ昇格したことを記念し、友好都市としての交流・協力をさらに促進させていくために交流増進協定を締結した。
玄海町	韓国釜山広域市 機張郡 平成21年7月25日	10年続いた民間交流を通じて、これから多岐にわたり交流していくために友好交流協定を締結した。
有田町	ドイツ連邦共和国 ザクセン州 マイセン市 昭和54年2月9日 (再調印) 平成3年9月21日 平成18年9月23日	マイセン市と有田町は、今日まで両国において代表的な磁器の産地として繁栄してきた。この両市が友好を深め、陶磁器文化の交流、技術の交流を通じて国際的な親善を期待し、姉妹都市の盟約を締結した。また、統一ドイツ後の新しい体制のもと、新たな出発として更に友好交流を深めるために、平成3年に姉妹締結、そして有田町と西有田町が合併し新有田町が発足した平成18年に再調印した。
	中国 江西省・景德鎮市 平成8年8月28日	景德鎮市と有田町については、磁器の産地として世界的に知られており、歴史的にも深いつながりがある。この両市が友好交流と経済、貿易往来をさらに強化し、科学技術、陶磁、文化、教育などの各分野の交流と協力を積極的に展開することを期待し、友好都市の盟約を締結した。

\* 中国（大連市旅順口区）及びアメリカ合衆国（グアム準州）については、「友好交流意向書」の締結をしている。

（注）提携先は姉妹都市・友好都市以外を含む。

(エ) その他友好団体

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
鹿島市	韓国 釜山外国語大学校 平成15年10月30日	鹿島市と釜山外国語大学校との交流は、第8回(平成4年)「鹿島ガタリンピック」に学生が参加したことに始まり、これまで、延べ1,000名以上の学生らが鹿島を訪れている。今後も相互の地域社会に貢献する交流を継続していくことを確認するため「官学国際交流協定」を締結した。
有田町	韓国 (社)韓国陶磁文化協会 平成8年8月28日 (再調印) 平成19年5月3日	(社)韓国陶磁文化協会と有田町については、有田陶器市期間中に開催される陶祖李参平氏を讃える陶祖祭への参拝や韓国忠清南道鷄龍山国立公園鷄龍寺に建立した李参平顕彰碑との関わり、協会の金会長が有田町の名誉町民であるなど深い交流をしており、今後も陶磁器文化交流と日韓友好親善増進に相互に協力するため、友好団体の盟約を締結した。

ウ 教育機関等の姉妹友好等提携交流（令和6年度）

(ア) 大学・短期大学

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	大韓民国	全南大学校	H3. 3. 8
	タイ王国	カセサート大学	H8. 12. 6
	大韓民国	安東大学校	H9. 12. 11
	中華人民共和国	華東師範大学	H10. 5. 15
	タイ王国	コンケン大学	H10. 9. 28
	中華人民共和国	北京工業大学	H10. 12. 8
	大韓民国	国民大学校	H11. 3. 29
	中華人民共和国	首都師範大学	H11. 4. 12
	スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学	H11. 11. 30
	大韓民国	釜山大学校	H12. 2. 2
	中華人民共和国	中国農業大学	H12. 10. 17
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家農業大学	H12. 12. 7
	インドネシア共和国	ハサヌディン大学	H13. 3. 9
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ工科大学	H13. 4. 27
	台湾	輔仁カトリック大学	H13. 8. 9
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学	H13. 11. 1
	中華人民共和国	遼寧師範大学	H13. 11. 6
	中華人民共和国	ハルビン工業大学	H13. 11. 12
	大韓民国	釜慶大学校	H14. 4. 18
	大韓民国	済州大学校	H14. 8. 9
	インドネシア共和国	サムラツランギ大学	H14. 9. 13
	大韓民国	韓国技術教育大学	H14. 10. 8
	中華人民共和国	華東理工大学	H15. 4. 1
	フランス共和国	ブルゴーニュ大学	H15. 7. 1
	インドネシア共和国	リアウイスラム大学	H15. 7. 2
	オーストラリア連邦	ラトロープ大学	H15. 7. 31
	中華人民共和国	浙江理工大学	H16. 9. 6
	台湾	国立政治大学	H16. 9. 13
	台湾	国立中興大学	H16. 9. 14
	フランス共和国	オルレアン大学	H17. 3. 31
	タイ王国	チェンマイ大学	H17. 9. 9
	台湾	国立台北大学	H17. 10. 6
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学	H18. 3. 3
	台湾	国立東華大学	H18. 6. 30
	大韓民国	培材大学校	H18. 7. 11
	大韓民国	牧園大学校	H19. 5. 16
	インドネシア共和国	スリビジャヤ大学	H19. 6. 11
	大韓民国	大邱大学校	H19. 6. 26
	台湾	元培医事科技大学	H19. 7. 6
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	H19. 8. 6
	カンボジア王国	プノンペン王立法経大学	H19. 8. 24
中華人民共和国	西南政法大学	H19. 10. 31	
中華人民共和国	浙江科技学院	H19. 12. 25	
タイ王国	モンクット王ラカバン工科大学	H20. 1. 3	
アメリカ合衆国	パンフィック大学	H20. 2. 29	
中華人民共和国	遼寧大学	H20. 4. 30	
インドネシア共和国	ダルマプルサダ大学	H21. 9. 4	
台湾	文藻外語大学	H21. 9. 4	
ラオス人民民主共和国	ラオス国立大学	H22. 1. 26	

佐賀大学 (大学間)	カナダ	ウイルフリッド・ロリエ大学	H22. 7. 13
	バングラデシュ人民共和国	ジャハンギールナガール大学	H22. 7. 26
	バングラデシュ人民共和国	チッタゴン工科大学	H22. 9. 30
	インドネシア共和国	セバラスマレット大学	H23. 3. 28
	インドネシア共和国	ジュアングダ大学	H23. 7. 15
	インドネシア共和国	マラン国立大学	H23. 12. 7
	インドネシア共和国	IPB大学	H23. 12. 27
	アメリカ合衆国	スリップアリーロック大学	H24. 4. 4
	オーストラリア連邦	シドニー工科大学	H24. 8. 28
	カンボジア王国	王立プノンペン大学	H24. 11. 30
	タイ王国	タマサート大学	H25. 2. 13
	バングラデシュ人民共和国	ダッカ工科大学	H25. 2. 20
	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	H25. 3. 11
	リトアニア共和国	ヴィタウタスマグヌス大学	H25. 8. 26
	フィンランド共和国	ユバスキュラ大学	H25. 11. 8
	インドネシア共和国	ブラウイジャヤ大学	H26. 4. 14
	ベトナム社会主義共和国	カントー大学	H28. 8. 21
	オランダ王国	デザインアカデミーアイントホーフェン	H28. 10. 19
	ドイツ連邦共和国	ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学 (ハレ)	H29. 3. 30
	中華人民共和国	温州大学	H30. 5. 28
	インドネシア共和国	スラバヤ工科大学	R元. 5. 21
	台湾	国立勤益科技大学	R元. 6. 28
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校経済大学	R元. 9. 24
	スペイン王国	アルメリア大学	R4. 8. 26
	中華人民共和国	貴州民族大学	R4. 12. 19
	バハマ国	バハマ大学	R5. 9. 26
	フランス共和国	リール大学	R6. 6. 6
オーストリア共和国	ウィーン工科大学	R6. 9. 18	

佐賀大学 (学部間)	*経済学部		
	中華人民共和国	中国社会科学院 世界経済政治研究所	H6. 6. 30
	*医学部		
	アメリカ合衆国	ハワイ大学 ジョンA・バーンズ医学部	H14. 2. 14
	台湾	輔仁カトリック大学 医学部	H25. 3. 15
	*理工学部		
	チェコ共和国	プラハ化学技術大学	H10. 7. 20
	バングラデシュ人民共和国	クルナ工業技術大学	H12. 3. 1
	中華人民共和国	武漢大学 電気工程学院	H14. 11. 27
	ネパール	トリブバン大学 理工学部	H15. 3. 2
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部	H15. 3. 28
	大韓民国	延世大学校	H17. 4. 11
	タイ王国	スラナリー工科大学 工学部	H25. 2. 19
	ドイツ連邦共和国	ドレスデン工科大学 科学部	H27. 3. 27
	中華人民共和国	同済大学 土木工程学院	H27. 5. 7
	ミャンマー連邦共和国	ヤンゴン工科大学	H27. 6. 22
	大韓民国	韓国交通大学	H27. 9. 15
	マレーシア	トゥン・フセイン・オン大学	H27. 12. 9
	インドネシア共和国	ランブング・マンクラット大学	H28. 1. 20
	中華人民共和国	蘇州大学 材料与化学化工学部	H30. 1. 30
	ベトナム社会主義共和国	チュイロイ大学	H30. 3. 7
	カザフスタン共和国	カザフ建築土木高等アカデミー	H30. 7. 20
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ホーチミン市校情報技術大学	H31. 2. 21
	タイ王国	チュラロンコン大学 工学部	R元. 12. 23
	インドネシア共和国	カリマンタン工科大学	R2. 1. 8
	インドネシア共和国	ブンハッタ大学	R2. 3. 18
	インドネシア共和国	ムハマディア大学	R4. 1. 26
	インドネシア共和国	タドゥラコ大学 工学部	R5. 9. 11
	チュニジア共和国	カルタゴ大学 国立建築都市計画学校	R6. 2. 5
	*農学部		
	マレーシア	マレーシアプトラ大学 農学部	H元. 3. 16
	インドネシア共和国	ジェンデラル・スディルマン大学	H30. 10. 23
	*海洋エネルギー研究所		
	大韓民国	釜慶大学 先進的親和環境エネルギーセンター	H16. 9
	大韓民国	海洋大学 海洋エネルギー人的資源開発センター	H21. 9
	中華人民共和国	大連理工大学海洋科学技術学院	H27. 1. 21
	アメリカ合衆国	ハワイ州立自然エネルギー研究所 (NELHA) マカイ・海洋エンジニアリング (MAKAI)	H27. 8
	ブラジル連邦共和国	リオデジャネイロ連邦大学 アルベルト・ルイス・コインブラ研究所	R5. 10
	*シンクロトロン光応用研究センター		
	中華人民共和国	上海交通大学 複合材料研究所	H14. 4. 1
	大韓民国	浦項工科大学校 浦項加速器研究所	H18. 3. 6
	英国	リバプール大学 物理学教室	H18. 4. 1
	ロシア連邦	ロシア研究センタークリャトフ研究所 クリャトフシンクロトロン放射光及び ナノテクノロジー研究センター	H22. 9. 9
	中華人民共和国	上海応用物理研究所上海シンクロトロン光施設	H23. 4. 6
	*肥前セラミック研究センター		
	大韓民国	韓国窯業技術院Icheon分院	R元. 1. 3

西九州大学 西九州大学短期大学部	アメリカ合衆国	アラスカ大学	H22. 8. 25
	アメリカ合衆国	ニューヨーク州立大学アディロンダック校	H22. 11. 23
	大韓民国	モコン大学	H22. 12. 14
	大韓民国	大田科学技術大学	H23. 10. 7
	タイ王国	ブラパー大学	H24. 8. 27
	台湾	国立宜蘭大学	H24. 11. 7
	台湾	元培医事科技大学	H24. 11. 8
	スロベニア	リュブリャナ大学	H25. 8. 5
	大韓民国	社会福祉法人 蓮花村	H25. 9. 24
	台湾	義守大学	H25. 10. 11
	中華人民共和国	安徽三聯学院	H27. 3. 23
	中華人民共和国	厦門（アモイ）理工学院	H27. 6. 23
	中華人民共和国	中国貴州民族大学	R4. 5. 13
	大韓民国	建国大学グローバルキャンパス	H27. 6. 26
	ベトナム	ハノイ大学	H29. 9. 12
	台湾	国立台北大学	R6. 7. 22
	韓国	馬山大学	R6. 10. 25
	中国	厦門工学院	R6. 12. 11
	九州龍谷短期大学 * 大学間	大韓民国	釜山女子大学
大韓民国		東義科学大学	H23. 7. 25
大韓民国		釜山経商大学	H23. 11. 9
中華人民共和国		大連大学日本語言文化学院	H25. 5. 14
佐賀女子短期大学 * 大学間	大韓民国	慶州大学校	H11. 11. 12
	中華人民共和国	南通農業職業技術学院	H15. 10. 26
	中華人民共和国	連雲港職業技術学院	H17. 6. 29
	英国	グロスタシャーカレッジ	H20. 7. 13
	ニュージーランド	イースタン・インスティテュート・オブ・テクノロジー	H20. 10. 15
	大韓民国	蔚山科学大学	H22. 1. 15
	大韓民国	釜山外国語大学	H27. 5. 13
	中華人民共和国	江西外語外貿職業学院	H27. 6. 1
	大韓民国	培材大学	H27. 10. 14
	大韓民国	翰林聖心大学	H29. 4. 21
	大韓民国	忠北保健科学大学	H29. 5. 17
	大韓民国	金浦大学	H29. 6. 13
	カナダ	ロッキー大学	H29. 8. 3
	大韓民国	馬山大学校	H31. 4. 24
	大韓民国	東義科学大学	R1. 6. 10
	大韓民国	啓明文化大学	R2. 7. 23
	大韓民国	明知大学	R2. 11. 11
	大韓民国	韓南大学	R2. 12. 18
	大韓民国	漢陽女子大学	R2. 12. 30
	大韓民国	国民大学校	R3. 1. 13
	大韓民国	慶星大学	R3. 3. 24
	大韓民国	崇実大学	R3. 5. 19
	大韓民国	漢陽女子大学	R3. 4. 21
	大韓民国	誠信女子大学	R3. 6. 17
	大韓民国	仁徳大学	R3. 7. 14
	大韓民国	大邱大学	R4. 1. 5
	大韓民国	清州大学	R4. 4. 21
	台湾	大葉大学	R4. 4. 26
	大韓民国	慶南情報大学	R4. 9. 13
	タイ王国	ランシット大学	R4. 12. 13

大韓民国	長安大学校	R5. 8. 9
大韓民国	祥明大学	R6. 1. 22
台湾	玄装大学	R6. 1. 16
大韓民国	東義大学	R6. 3. 12
台湾	实践大学	R6. 10. 22
中華人民共和国	大連大学	R7. 2. 27

## (イ) 高等学校

学校名	提携日・提携先	提携の経緯
佐賀東高等学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀北高等学校	平成4年3月 グレンズフォールズ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津西高等学校	平成29年9月21日 貴州師範大学附属中学 (中国 貴州省)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度に国際交流協定締結に至った。
太良高等学校	平成30年3月7日 台湾国立成功商業水産職業学校 (中国 台湾)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。平成29年度にかけて行き来をした後、平成29年度に国際交流協約書を締結した。
唐津南高等学校	平成28年9月29日 三重高級商工職業学校 (台湾 新北市)	平成27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度に国際交流協定締結に至った。
高志館高等学校	平成30年3月 湖南園芸高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成29年度に国際交流協約を締結した。
佐賀農業高等学校	平成26年8月 全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成26年度に国際交流協定締結に至った。
佐賀工業高等学校	平成27年10月 順天(スンチョン)工業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度に国際交流協約を締結した。
有田工業高等学校	平成17年8月2日 韓国陶芸高等学校 (韓国)	陶磁器教育に関する交流を通じて情報交換を行い、両国文化の理解を深めて相互の発展をはかるために平成17年度に姉妹校交流を締結した。

佐賀商業高等学校	平成7年7月4日 ハードリー・ルザン高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
	平成28年11月1日 筏橋商業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。3年間相互交流を続ける中で、平成28年度に交流協約書を締結した。
	令和5年6月22日 大一(デイル)観光高校 (韓国 ソウル市)	平成30年に佐賀県教育振興課を通して紹介があり交流開始。オンライン交流などを続けてきた。令和5年には国際交流協約書を締結し、生徒の派遣交流事業を始めている。令和6年度は修学旅行での交流も行った。
唐津商業高等学校	平成24年7月22日 麗水情報科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に国際交流協約書を締結した。
白石高等学校 商業科キャンパス (杵島商業高等学校)	平成27年12月23日 順天青岩(チョンナム)高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中、3度目の訪問の際に国際交流協約書を締結した。
牛津高等学校	平成25年12月 リセ・オテルリ (フランス パリ)	生徒のフランスへの留学先として関係機関より紹介された。
	平成27年12月 上海現代職業技術学校 (中国 上海市)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度に国際交流協定締結に至った。
鳥栖商業高等学校	令和3年3月31日 桃園市立中壠商業高級中等學校 (台湾)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。平成29年から令和元年にかけて相互交流を続ける中で、令和2年度に国際交流協定書を締結した。
神埼清明高等学校	令和元年12月 新北市立鶯歌高級工商職業学校 (中国 台湾)	平成27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。現地への訪問を続ける中で、令和元年に、国際交流協約書締結に至った。

嬉野高等学校	平成26年 5月 第一中東職業技術専門学校 (中国 遼寧省)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2回目の訪問で、友好交流に関する覚書を締結した。
唐津青翔高等学校	平成20年 1月14日 釜山外国語大学校 (韓国 釜山市)	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大学校との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。
	令和 6年 5月31日 羅州(ナジュ)高等学校 (韓国 全羅南道)	令和 5年12月全羅南道教育庁の訪問があった際、両校の継続的な交流を希望し、相互協力協定校として協定を結ぶこととなった。
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	平成10年 3月27日 レイクジョージ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
学校法人旭学園 佐賀女子短期大学附属 佐賀女子高等学校	平成14年 1月11日 善徳(ソンドク)女子高校 (韓国 慶州(キョンジュ)市)	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、平成13年3月に職員を派遣し視察。7月に善徳女子高校より来校され、提携協定を結ぶ予定であったが、教科書問題等で延期。平成14年1月に来校。提携校協定を結ぶ。
学校法人佐賀学園 佐賀学園高等学校	昭和56年 4月 1日 永登浦(ヨンドンポ)工業高校 (韓国 ソウル特別市)	佐賀新聞社の紹介により締結
学校法人江楠学園 北陵高等学校	平成 2年11月17日 サザンアディロンダック職業訓練学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
学校法人東明館学園 東明館高等学校	平成27年 4月27日 信男教育学園上海文來高等学校国際部中日班 (中国 上海市)	平成26年 1月20日佐賀県国際・観光部おもてなし課から依頼があり文化交流会を実施。文化交流会をきっかけに本校への編入学に関する協定を締結。

(ウ) 中学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀大学教育学部 附属中学校	平成28年2月 香港聖公会林護中学校 (中国 香港)	平成26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」をに応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度、MOUを締結した。平成30年9月にお互いの学校で姉妹校締結書を交わした。
唐津東中学校	平成29年11月6日 董玉娣中学校 (中国 香港)	平成27年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中で、友好交流に関する覚え書きを締結した。
武雄青陵中学校	平成27年3月4日 麗水華陽(ファヤン)中学校 (韓国 全羅南道)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加。相手校の受入に引き続き、同年度内に相手校を初めて訪問した際、協定締結を行った。
佐賀市立 成章中学校	平成10年11月17日 ウォーレンズバーグ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 城南中学校	平成10年3月27日 レイクジョージ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 昭栄中学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 城西中学校	平成元年5月22日 グレンフォールズ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 鍋島中学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津市立 第一中学校	平成8年11月16日 麗水中学校 (韓国 全羅南道)	昭和57年に唐津市と麗水市の姉妹都市締結をうけ、両市の教育発展と友好親善に寄与するため姉妹校締結。

<p>武雄市立 山内中学校</p>	<p>平成5年3月 ブルックハイブン中学校 (アメリカ カリフォルニア州 セバスト ポール市) 平成23年4月16日 (再調印)</p>	<p>昭和60年3月にセバストポール市と山内町が国際姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをうけ、ブルックハイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。山内町が武雄市と合併後の平成23年4月16日に武雄市、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印。</p>
<p>神埼市立 神埼中学校</p>	<p>平成28年11月15日 朗州中学校 (韓国 全羅南道)</p>	<p>平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。その後隔年で、お互いの学校を訪問し、交流会を行っている。</p>
<p>神埼市立 千代田中学校</p>	<p>平成28年11月9日 三湖西中学校 (韓国 全羅南道)</p>	<p>平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。神埼市にある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神埼市中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うことになった。平成27年10月23日に神埼市から韓国事前訪問を行い、仮締結した。平成28年11月9日千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と交流を行った。交流は、一時途絶えていたが令和6年度から再度交流が始まり韓国の方へ訪問した。</p>
<p>神埼市立 脊振中学校</p>	<p>平成元年10月1日 山西大学附属中学校 (中国 山西省)</p>	<p>締結年度の前年度に、スッポン養殖研究で脊振村(当時)に滞在していた3人の中国人研究者と中学校との交流会がきっかけとなった。心温まる歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役になり、また、本校においては、日本赤十字社佐賀県支部の協力を受けて姉妹校の締結及び相互の親善訪問が実現した。</p>
<p>上峰町立 上峰中学校</p>	<p>平成16年8月27日 大神(テイシン)中学高等学校 (韓国)</p>	<p>昭和55年より剣道愛好者による民間交流が始まる。平成13年に上峰町長及び議員がヨジュ郡を表敬訪問。ヨジュ郡からの来町も繰り返された。平成15年、日韓友好上峰町青少年ヨジュ郡訪問事業開始。平成16年姉妹校締結。</p>
<p>玄海町立 玄海みらい学園</p>	<p>平成29年8月10日 コロワルスクール (オーストラリア シドニー)</p>	<p>前教育長が国際交流を推進しており、数年前からコロワルスクールとは交流をしていた。その交流の一環として。</p>

## (エ) 小学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀市立 勸興小学校	平成元年5月22日 サンフォード・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 循誘小学校	平成2年11月17日 ウォーレンズバーグ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 嘉瀬小学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 鍋島小学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 金立小学校	平成元年5月22日 ビッグクロス・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 久保泉小学校	平成2年11月17日 レイクジョージES校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 芙蓉小学校	平成元年5月22日 ジャクソンハイツ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津市立 名護屋小学校	平成11年10月20日 萬徳初等学校 (韓国)	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、翌年平成12年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っていた。
鹿島市立 北鹿島小学校	平成22年8月4日 大西(テソ)初等学校 (韓国 全羅南道高興(コブン)郡)	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行う。

(2) 世界の諸地域との交流

佐賀県からの海外移住は、明治20年代から始まり、当初はハワイ、アメリカ合衆国が主であったが、次第にブラジルへの移住が増加し、大正から昭和にかけてブラジルをはじめ、メキシコ、ペルー、ポリビア等、南米各地に多くの県民が渡航した。

ア 市町別移住者数一覧

(単位：人)

移住先 市町名	アメリカ	カナダ	メキシコ	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	パラグアイ	ポリビア	フィリピン	カレドニア ニュー	ウルグアイ	不明	合計
佐賀市	145	17	15	275	70	22	39	22		2			607
唐津市	15	6	8	457	4	3	4	1					498
鳥栖市	37	6	8	32	10	2	6						101
多久市	17		2	136	5	14		1					175
伊万里市	10	3		200	7	2	15	4					241
武雄市	16	6	4	116	9	8	4	11					174
鹿島市	10	4	2	145	6	26				2			195
小城市	20	2	2	49	15	8	4	11	2				113
嬉野市	11	1	1	202	1	6		2	3	4			231
神埼市	25	1	5	104	6	2		2	5	1			151
吉野ヶ里町	1		1	73	9	1							85
基山町	6		3	9	6	2							26
上峰町	27			18	6		5						56
みやき町	71	8	8	80	23	2		1	6			1	200
玄海町													0
有田町				76		1							77
大町町	1		1	110	6	34	11						163
江北町	2	1		27									30
白石町	17	4	7	191	5	7	5		1				237
太良町	1			64									65
小計	432	59	67	2,364	188	140	93	55	17	9	0	1	3,425
出身地不明	325	1	1	48	7	3	2		70		1	1	459
合計	757	60	68	2,412	195	143	95	55	87	9	1	2	3,884

出典：佐賀県海外移住史

イ 在外県人会

海外移住者及びその子孫、本県出身海外駐在員等により18か所（20か国）に県人会があり、各種活動を行っている。

R6.5月現在

地域	国名	団体名（日本語）	団体名（現地名称）	創立年	会員数
南米	ブラジル	ブラジル佐賀県文化協会	ASSOCIAÇÃO CULTURAL ESPORTIVA E BENEFICENTE SAGAKEN DO BRASIL	1955 (S30)	191名
	アルゼンチン	アルゼンチン佐賀県人会	ASOCIACION SAGA EN LA ARGENTINA	1976 (S51)	70名
	パラグアイ	パラグアイ佐賀県人会	PARAGUAY SAGA KENJINKAI	1957 (S32)	9家族
	ペルー	ペルー佐賀県人会	Asociacion Peru Saga Kenjinkai	1980 (S55)	122名
	ボリビア	ボリビア国佐賀県人会	ASOCIACION. DE. PRV, SAGAKEN BOLIVIA	1960 (S35)	56名
北米	アメリカ	南カリフォルニア佐賀県人会	Saga Prefectural Association of Southern California	1905 (M38)	18名
		ハワイ佐賀県人会	Hawaii Saga-Kenjinkai	1979 (S54)	9名
		NYばってん会	NY Batten Kai	1999 (H11)	78名 (佐賀出身者 16名)
		北カリフォルニア佐賀県人会	Saga Kenjin Kai of Northern California	2009 (H21)	25名
アジア	タイ王国	泰国佐賀県人会	SAGA ASSOCIATION OF THAILAND	1990 (H2)	44名
	中国	香港佐賀県人会	香港佐賀県人会	1995年頃 (H7頃)	12名
		北京佐賀県人会	北京佐賀县人会	2015 (H27)	10名
		上海佐賀県人会	上海佐賀県人会	2002 (H14)	45名
		台湾佐賀県人会	台湾佐賀県人会	2017 (H29)	21名
	シンガポール	佐賀県人会 葉隠会	Hagakure-Kai	1984 (S59)	16名
	マレーシア	マレーシア佐賀県人会	ムツゴロウ会	2013 (H25)	17名
	ベトナム	ホーチミン葉隠会	ホーチミン葉隠会	2015 (H27)	10名
欧州	フランス	パリ佐賀県人会	パリ佐賀県人会	2013 (H25)	21名

### 3. 国際化推進のための環境づくり

#### (1) 語学指導等を行う外国青年招致事業

(JET プログラム : The Japan Exchange and Teaching Programme)

地方公共団体が総務省、文部科学省、外務省及び一般財団法人自治団体国際化協会（CLAIR）の協力の下、外国青年を招致し、中・高校等における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としている。

この事業は職種により、国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT）及びスポーツ国際交流員（SEA）に分けられ、CIRは国際交流活動に従事し、地方公共団体の行政部門に配置される。ALTは語学指導に従事し、主に教育委員会、または公立中・高等学校、あるいは私立中・高等学校に配置される。SEAはスポーツを通じた国際交流活動に従事し、主に地方公共団体に配置される。

#### ア 年度別招致状況

JET 青年招致人数推移

	県				市 町 等				合 計			
	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計
H10年度	2	28		30	2	57		59	4	85		89
H11年度	3	29		32	2	60		62	5	89		94
H12年度	3	29		32	2	62		64	5	91		96
H13年度	3	30		33	2	63		65	5	93		98
H14年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H15年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H16年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H17年度	3	29		32	3	64		67	6	93		99
H18年度	3	28		31	3	60		63	6	88		94
H19年度	3	27		30	3	50		53	6	77		83
H20年度	3	14		17	2	41		43	5	55		60
H21年度	3	9		12	2	35		37	5	44		49
H22年度	3	6		9	2	33		35	5	39		44
H23年度	3	16		19	2	31		33	5	47		52
H24年度	3	16		19	2	30		32	5	46		51
H25年度	4	16		20	2	26		28	6	42		48
H26年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H27年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H28年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H29年度	4	16	1	21	2	24		26	6	40	1	47
H30年度	4	16	1	21	2	23		25	6	39	1	46
R元年度	5	16	1	22	2	23		25	7	39	1	47
R2年度	4	13		17	2	17		19	6	30		36
R3年度	4	16		20	3	14		17	7	30		37
R4年度	4	16		20	3	14		17	7	30		37
R5年度	5	16		21	3	13		16	8	29		37
R6年度	5	16		21	3	13		16	8	29		37

※「市町等」欄には市町教育委員会の他、私立学校(H2～H18年度、R1～5年度各年度 ALT 1名を配置)を含む。

イ 外国青年招致事業による招致青年の配置状況（令和6年度）

○ 国際交流員（CIR）

配 置 先		R6 人数
県	佐賀県多文化共生さが推進課	4
	名護屋城博物館	1
市 町 等	佐賀市国際課	1
	嬉野市観光商工課	1
	有田町商工観光課	1
合 計		8

○ 外国語指導助手（ALT）

配 置 先		R6 人数
県	佐賀県教育委員会学校教育課	16
市 町 等	唐津市教育委員会	2
	伊万里市教育委員会	1
	武雄市教育委員会	3
	鹿島市教育委員会	2
	嬉野市教育委員会	1
	玄海町教育委員会	1
	有田町教育委員会	1
	大町町	1
	江北町教育委員会	1
	合 計	29

調：多文化共生さが推進課

## (2) 外国語教育

## ア 県立高校における留学生受入校及び受入人数（1か月以上）

	学 校 名	R3	R4	R5	R6		学 校 名	R3	R4	R5	R6
1	鳥 栖		1	1	1	20	唐 津 南				
2	三 養 基					21	伊 万 里 農 林				
3	神 埼					22	佐 賀 農 業	1	1		
4	佐 賀 東			1		23	鳥 栖 工 業				
5	佐 賀 西			2		24	佐 賀 工 業			1	
6	佐 賀 北	1	1	2	1	25	唐 津 工 業				
7	致 遠 館	1	1	1	1	26	有 田 工 業				
8	小 城					27	塩 田 工 業				
9	唐 津 東					28	鳥 栖 商 業				
10	唐 津 西		1			29	佐 賀 商 業				
11	巖 木					30	唐 津 商 業				
12	唐 津 青 翔					31	伊 万 里 商 業				
13	伊 万 里		1		1	32	杵 島 商 業				
14	武 雄					33	鹿 島 実 業				
15	白 石				1	34	神 埼 清 明				
16	鹿 島					35	多 久				
17	太 良					36	嬉 野				
18	牛 津	1	1			受 入 校 数		4 校	7 校	6 校	5 校
19	高 志 館					留 学 者 数		4 名	7 名	8 名	5 名

調：県教育委員会事務局教育振興課

## イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況（令和6年度）

学 校 名	学科・コース名	ク ラ ス 数	生徒数（定員）	コースの設置年
佐賀商業高等学校	グローバルビジネス科	1	40	平成30年
唐津青翔高等学校	韓国文化系列	-	-	令和4年

調：県教育委員会事務局教育振興課

ウ 県立高校における英語以外の外国語の取組状況（令和6年度）

学 校 名	科 目	開始年度
佐 賀 商 業	中国語入門（3年生選択／2単位）	H4
	ハングル入門（3年生選択／2単位）	H17
唐 津 商 業	ハングル入門（3年生選択／3単位）	H4
三 養 基	中国語Ⅰ（3年生選択／2単位）	H8
佐 賀 北	中国語入門（3年生選択／4単位）	H8
	ハングル入門（3年生選択／4単位）	H13
嬉野（嬉野校舎）	中国語入門（1年生選択／2単位）	H13
	中国語基礎（2年生選択／2単位）	H21
唐 津 青 翔	韓国文化（3年生選択／2単位）	H17
	韓国語Ⅰ（1・2年生選択／6単位）	H17
	韓国語Ⅱ（3年生選択／2単位）	H17
佐 賀 農 業	韓国語入門（3年生選択／2単位）	H26
白石（商業科キャンパス）	韓国語入門（3年生商業科マーケティングコース／2単位）	R2

調：県教育委員会事務局学校教育課

エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況（令和6年度）

学 校 名	渡 航 先	内 容	人 数
佐賀商業高校 グローバルビジネス科	韓国	学校交流、ソウル市内観光	40

調：県教育委員会事務局学校教育課

オ 海外の学校との交流状況

(ア) 高等学校

学校名	相手校	提携日 (提携校の場合)	提携の経緯	令和6年度の交流状況
佐賀東高等学校	クイーンズベリー高校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀北高等学校	グレンズフォールズ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成4年3月	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
	タピオラ高校 (フィンランド)		R3年度に東京2020オリパラホストタウン事業として国際課からの紹介	交流実績なし
	新竹高校 (台湾)			1年生の授業の一環で台湾の新竹高校と郵便のやり取りをした。手紙だけでなく、写真や絵などの思い入れのあるものの交換やお互いの国の文化を紹介した。
	光陽製鉄高校 (韓国)			お互い20名の交流メンバーを募り、メッセージのやり取りと、お土産のやり取りを行った。こちらからは、お菓子や雑貨などに加え、それぞれのパートナーへの手紙や交流のあかしとして横断幕を送った。相手校からも手作りのキーホルダーや手紙など心のこもったギフトをいただいた。
佐賀西高等学校	ヘアマン・ウェセリンク・カレッジ (オランダ)		R3年度に東京2020オリパラホストタウン事業として国際課からの紹介	【ZOOMオンライン交流】 参加生徒：17名（2年生） 実施日：R7年1月10日（1回目） R7年3月10日（2回目） 各回1時間程度 交流内容：自己紹介、学校紹介（1回目）、戦争と世界平和についてのディスカッション（2回目）
唐津西高等学校	貴州師範大学附属中学 (中国 貴州省)	平成29年9月21日	H26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H28年度に国際交流協定締結に至った。	交流実績なし
	ムンヒャン高校 (韓国 全羅南道)		全羅南道教育委員会からの紹介	【迎え入れ交流】 実施日：R6. 8. 6 参加人数：30名 内容：学校紹介、学校見学、昼食、唐津の紹介、日本のあそび紹介、写真撮影、プレゼント贈呈
太良高等学校	台湾国立成功商業水産職業学校 (台湾)	平成30年3月7日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。H29年度にかけて行き来をした後、同年度に国際交流協約書を締結した。	交流実績なし
唐津南高等学校	三重高級商工職業学校 (台湾 新北市)	平成28年9月29日	H27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H28年度に国際交流協定締結に至った。	交流実績なし
高志館高等学校	湖南園芸高等学校 (韓国 全羅南道)	平成30年3月	H25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H29年度に国際交流協約を締結した。	交流実績なし
	ジャパレル高校 (アメリカ アリゾナ州)		教育振興課からの紹介	交流実績なし
佐賀農業高等学校	全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成26年8月	H24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H26年度に国際交流協定締結に至った。	【受入交流】 交流日：R6. 11. 20  参加人数： 全南生命科学高校生16名 引率教員5名 佐賀農業高校生21名 (韓国語選択者・希望者)  交流内容： 全校生徒参加の歓迎セレモニーにて両校の学校紹介、交流参加生徒とのペアワーク、カフェ体験、校内探索や記念品交換など

三養基高等学校	貴州省貴陽市第十中学校 (中国)		国際課からの紹介	交流実績なし
佐賀工業高等学校	順天(スンチョン)工業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成27年10月	H25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H27年度に国際交流協約を締結した。	交流実績なし
有田工業高等学校	韓国陶芸高等学校 (韓国)	平成17年8月2日	陶磁器教育に関する交流を通じて情報交換を行い、両国文化の理解を深めて相互の発展をはかるためにH17年度に姉妹校交流を締結した。	R6.10に本校から陶芸作品22点を送り、R6.12に先方からの陶芸作品14点を展示し作品交流を行った。
	韓国一山高等学校 (韓国)			R6.12に一山高校生徒9名、引率3名、通訳1名の計13名の学校訪問があり、本校デザイン科の実習等の授業見学や施設見学を行った。
佐賀商業高等学校	ハードリー・ルザン高校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成7年7月4日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
	韓国大一観光高等学校 (韓国)	令和6年6月23日	H30年度に教育振興課からの紹介。	【派遣交流】 交流日：R6.6.6～6.10 受入人数：女子生徒3名 交流内容：佐賀商での授業（英語や書道など）に参加、ホームステイ先での交流  【オンライン交流】 交流日：R6.6.7 交流内容：3-5生徒40名とデイル観光高校の生徒とのオンライン交流  【修学旅行時の交流】 交流日：R6.12.8 交流内容：本校生徒40名とデイル観光高校の生徒をグループに分けてソウル市内観光
	筏橋商業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成28年11月1日	H26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H28年度に交流協約書を締結した。	交流実績なし
	花蓮市海星高校 (台湾)		八戸溝郵便局からの紹介	【手紙交流】 交流日：R6.7 交流人数：1年生6クラス(240名) 交流内容：手紙のやり取り
唐津商業高等学校	麗水情報科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年7月22日	H24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に国際交流協約書を締結した。	交流実績なし
白石高等学校 商業科キャンパス (杵島商業高等学校)	順天青岩(チョンアム)高等学校 (韓国 全羅南道)	平成27年12月23日	H25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中、3度目の訪問の際に国際交流協約書を締結した。	交流実績なし
	求禮(クレ)高等学校 (韓国 全羅南道)		全羅南道教育庁の原田実様の斡旋により。	交流実績なし
	壺岩(ヨンアム)女子高校 (韓国 全羅南道)		全羅南道教育庁の針崎万梨恵様の斡旋により。	交流実績なし
牛津高等学校	リセ・オテルリ (フランス パリ)	平成25年12月	生徒のフランスへの留学先として関係機関より紹介された。	交流実績なし
	上海現代職業技術学校 (中国 上海市)	平成27年12月	H24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H27年度に国際交流協定締結に至った。	交流実績なし

鳥栖商業高等学校	桃園市立中壢商業高級中等學校 (台湾)	令和3年3月31日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。相互交流を続ける中で、R2年度に国際交流協定書を締結した。	<p>【受入交流】 実施日：R6. 5. 28 受入人数：生徒15名、学校長、引率教諭1名 内容：歓迎会（学校長挨拶、生徒代表挨拶、記念品交換、歓迎パフォーマンス等）、交流会（学校紹介、校歌合唱、ゲーム、和菓子の調理体験、生徒交流等）</p> <p>【オンライン交流】 ＜1回目＞ 実施日：R6. 9. 20 参加人数：本校生徒25名（相手校は二次元クラブの生徒が参加） 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて） ＜2回目＞ 実施日：R6. 10. 18 参加人数：本校生徒16名（相手校は日本語研究クラブの生徒が参加） 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて）</p> <p>【訪問交流】 実施日：R6. 10. 30 ～ 11. 1 参加人数：生徒2名、引率者1名 内容：台北市内観光、ホームステイ、学校訪問（歓迎会、授業体験、生徒交流）</p>
	デイル観光高等学校 (韓国 ソウル市)		相手校が毎年インターンシップで来日されており、その期間中に交流をしたいという希望があったため。	<p>【受入交流】 ＜1回目＞ 実施日：R6. 6. 8～15 受入人数：生徒3名 内容：ホームステイ、生徒交流、授業体験 ＜2回目＞ 実施日：R6. 11. 11～15 受入人数：生徒14名、引率者1名 内容：生徒交流、授業体験、学校行事体験</p> <p>【オンライン交流】 ＜1回目＞ 実施日：R6. 11. 8 参加人数：本校生徒18名 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて） ＜2回目＞ 実施日：R6. 12. 6 参加人数：本校生徒18名 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて）</p>
	ドイツ ツァイツ市		鳥栖市とツァイツ市との姉妹都市交流の一環として、鳥栖市より受入依頼があったため。	<p>【受入交流】 実施日：R6. 7. 18 受入人数：生徒10名 内容：歓迎パフォーマンス（吹奏楽部・ダンス部）、学校紹介、部活動体験（筆・書道）</p>
神埼清明高等学校	新北市立鶯歌高級工商職業学校 (台湾)	令和元年12月	H27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。現地への訪問を続ける中で、R元年度に、国際交流協約書締結に至った。	交流実績なし
嬉野高等学校	第一中東職業技術専門学校 (中国 遼寧省)	平成26年5月	H25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2回目の訪問で、友好交流に関する覚書を締結した。	交流実績なし
武雄高等学校	ライナールトカレッジ (オランダ フルスト市)		東京オリパラホストタウン事業	<p>【オンライン交流】 ①R6. 12. 5 ②R6. 12. 12 ・ 互いの国について、Kahoot! を使ってクイズ ・ 互いの国・地域についてディスカッション ・ SNS使用・ジェンダー問題・気候変動の影響と対策についてのディスカッション ・ 上記についての問題解決を訴えるポスターづくり</p> <p>※以上全てをzoomを用いたオンライン交流にて行った。</p>

唐津青翔高等学校	釜山外国語大学校 (韓国 釜山市)	平成20年1月14日	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大学校との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。	【現地交流】 交流日：R6.11.20～22 交流人数：生徒14名、引率者2名 交流内容：自己紹介、学校紹介、学生との交流、開発商品PR、博物館等見学
	全羅南道羅州(ナジュ)高校 (韓国 全羅南道)	令和6年5月31日	令和5年12月全羅南道教育庁の訪問があった際、両校の継続的な交流を希望し令和6年5月相互協力協定校として協定を結ぶこととなった。	【オンライン交流】 交流日：①R6.7.10、②R6.10.30 交流人数：生徒14名、引率者2名 交流内容：自己紹介、学校紹介、学生との交流  【現地交流】 交流日：R7.1.21 交流人数：生徒31名、引率者5名 交流内容：学校紹介、学生との交流(日本の伝統的な遊びを通じた交流)
小城高等学校	日独スポーツ少年団のドイツ人留学生		小城市スポーツ協会より紹介され、日独スポーツ少年団の交流事業に参加した。	令和4年度に実施したオンラインでの交流をより深めるために、実際に韓国へ行き、教育博覧会に参加した。そこで中国と韓国の高校生と英語でのプレゼンテーションを通して、SDGsについて話し合い、意見を深めた。
	韓国全羅南道教育庁国際教育院主催		韓国全羅南道教育庁国際教育院主催の国際交流プロジェクトである「グローバル公民権プロジェクト」に希望して参加した。	実績なし
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	レイクジョージ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成10年3月27日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
学校法人旭学園 佐賀女子短期大学付属 佐賀女子高等学校	善徳(ソンドク)女子高校 (韓国 慶州市)	平成14年1月11日	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、H13.3に職員を派遣し視察。H14.1に善徳女子高校より来校。提携校協定を結ぶ。	日時：R6年7月22日～25 (3泊4日) 参加者：本校1年3名、2年生8名 合計12名 交流方法：現地訪問 交流内容： ・名前の紹介 ・佐賀県の特産物の紹介 ・授業体験 ・音楽祭参加 ・学食ホールでの昼食会 ・手紙の交換
学校法人佐賀学園 佐賀学園高等学校	永登浦(ユンドンポ)工業高校 (韓国 ソウル特別市)	昭和56年4月1日	佐賀新聞社の紹介	交流実績なし
学校法人江楠学園 北陵高等学校	サザンアディロンダック職業訓練学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
学校法人東明館学園 東明館高等学校	信男教育学園上海文来高等学校国際部中日班 (中国 上海市)	平成27年4月27日	H26.1.20に佐賀県国際・観光部おもてなし課から依頼があり文化交流会を実施。文化交流会をきっかけに本校への編入学に関する協定を締結。	編入学生徒10名が入学 (R6.11～)

## (イ) 中学校

学校名	相手校	提携日	提携の経緯	令和6年度の交流状況
佐賀大学教育学部 附属中学校	香港聖公会林護紀念中学校 (中国 香港)	平成28年2月	H26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H28年度、MOUを締結した。	日時：R6. 12. 11～14(3泊4日) 参加者：本校3年生4名、2年生9名、1年生7名、計20名 交流方法：現地訪問 交流内容： ・学校や自国文化(アニメ・日本の遊び)の紹介 ・名刺交換・体験授業・校舎見学
	ULIS MIDDLE SCHOOL (ベトナム ハノイ)	提携はしていない。現在交流段階である。	ULIS MIDDLE SCHOOLのチャン校長先生が、かつて佐賀大学に留学された経験をお持ちで、チャン先生の意向で交流を始めた。	日時：R6. 2月～3月 参加者：1年生、2年生 交流方法：文通 交流内容： ・自己紹介、ベトナムのことについての質問など。
唐津東中学校	董玉娣中学校 (中国 香港)	平成29年11月6日	H27年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中で、友好交流に関する覚え書きを締結した。	交流実績なし
武雄青陵中学校	麗水華陽(ファヤン)中学校 (韓国 全羅南道)	平成27年3月4日	H26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加。相手校の受入に引き続き、同年度内に相手校を初めて訪問した際、協定締結を行った。	交流実績なし
佐賀市立 成章中学校	ウォーレンズバーグ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成10年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 城南中学校	レイクジョージ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成10年3月27日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 昭栄中学校	ハードリー・ルザーレン中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 城西中学校	グレンフォールズ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成1年5月22日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 鍋島中学校	クイーンズベリー中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
	新竹市立光武國中学校 (台湾)		佐賀市八戸溝郵便局長より鍋島中の1年生に、「手紙の書き方」指導の一助として手紙での交流を紹介していただき、交流を行った。	【手紙による交流】 新竹市立光武國中学校について、パワポで紹介してもらい、手紙・しおりセットのプレゼントをもらう。その後、英語で手紙を書いた。お礼に使用済み切手と便せんプレゼントを贈った。
佐賀市立 北山中学校	セントポールズ校 (オーストラリア ビクトリア州)		元校長からの紹介	リモートによる交流をR6. 5. 20、R6. 10. 8、R7. 3. 11の年3回、各1時間程度ずつ実施した。歌舞伎や折り紙など日本の文化のプレゼンテーションをこちらから、日本語による挨拶や漢字についての質問を相手国から行うなどして相互の交流を深めた。
唐津市立 第一中学校	麗水中学校 (韓国 全羅南道)	平成8年11月16日	S57年に唐津市と麗水市の姉妹都市締結をうけ、両市の教育発展と友好親善に寄与するため姉妹校締結。	交流実績なし
唐津市立 鏡中学校	韓国済州島ソギボ女子中学校		西歸浦市との姉妹都市の関係により、唐津市地域交流部・地域づくり課からの依頼があり実施に至った。	交流実績なし
鳥栖市立 田代中学校	ドイツ ツァイツ市		鳥栖市とツァイツ市との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
鳥栖市立 鳥栖西中学校	ドイツ ツァイツ市		鳥栖市とツァイツ市との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし

神埼市立 神埼中学校	朗州中学校 (韓国 全羅南道)	平成28年11月15日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。その後隔年で、お互いの学校を訪問し、交流会を行っている。	神埼中学校から中学2年生5名と3年生が9名、韓国の朗州中学校へ訪問し交流を再開した。朗州中学校では現地の生徒からの出し物で歓迎された。神埼中学校からは学校紹介・神埼市紹介・日本の有名な武道である空手や伝統的な遊びのけん玉と体育祭でも踊った「よさこい踊り」を披露した。その後、生徒は朗州中学校の生徒と共に給食を食べたり、韓国の伝統的な遊びを体験した。別れ際には涙を流す生徒もおり、神埼中学校、朗州中学校の生徒ともに有意義な交流となった。
神埼市立 千代田中学校	三湖西中学校 (韓国 全羅南道)	平成28年11月9日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。神埼市にある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神埼市中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うことになった。H27.10.23に神埼市から韓国事前訪問を行い、仮締結した。H28.11.9に千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と交流を行った。	三湖西（サムホン）中での国際交流を行った。お互いの地域、中学校を互いに紹介し合い異文化の交流を深めた。 千代田中学校より生徒14名と教職員4名が訪問した。 11/26（火）～11/29（金）3泊4日 1日目 神埼市役所発→福岡空港→仁川空港→龍山駅→木浦駅→ホテル着 2日目 ホテル発→三湖西中学校交流会（歓迎会：各学校の紹介、パフォーマンス、韓国体験、昼食・交流）→霊岩郡史跡巡り→ホテル着 3日目 ホテル発→木浦駅→ソウル駅→ソウル市内観光→ホテル着 4日目 ホテル発→仁川空港→福岡空港→神埼市役所着
神埼市立 春振中学校	山西大学附属中学校 (中国 山西省)	平成1年10月1日	締結年度の前年度に、スッポン養殖研究で春振村（当時）に滞在していた3人の中国人研究者と中学校との交流会がきっかけとなった。心温まる歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役になり、また、本校においては、日本赤十字社佐賀県支部の協力を受けて、姉妹校の締結及び相互の親善訪問が実現した。	コロナ禍により、令和元年7月の山西大学附属中学校からの訪問団（生徒6名、職員2名）の受け入れを最後に交流を中断していたが、令和6年に交流を再開し、同年8月に本校から山西大学附属中学校へ生徒6名、職員2名が訪問した。中国講座で学んだ、中国語により春振町や春振中のことを紹介したり、太極拳や春振音頭等を披露した。また、ホームビジットでは、訪問先の生徒宅で夕食を共にし、親睦を深めることができた。
武雄市立 山内中学校	ブルックヘイブン中学校 (アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市)	平成5年3月 平成23年4月16日 (再調印)	S60.3にセバストポール市と山内町が国際姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをうけ、ブルックヘイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。山内町が武雄市と合併後のH23.4.16に武雄市、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印。	実施期間：R7.3.18 参加人数：セバストポール市から3名が来校し、中学生との交流を図った。 交流内容：学校施設の見学を行ったり授業に参加し交流を図ったりした。その他、生徒の自宅にセバストポール市からの生徒がホームステイを行い、日本文化に触れる交流も行っている。
芦刈観瀾校 (小城市立 芦刈中学校)	中国浙江省海鹽県の学校 (中国 浙江省)		S56年に、日中農業農民交流協会の事業として農業研修生12～13人が日本に派遣され、団長（金子龍）を含む数名が、三日月町及び牛津町の農家に約11か月間のホームステイによる研修で滞在。 H20年、三日月町出身者が特別講師として中国海鹽県の泰山成校に招聘された。そこで、S56年に研修生として派遣された金子龍氏との間で、友好交流の話が持ち上がった。 その後、小城市内の各種団体の代表で構成された訪問団による海鹽県の訪問や海鹽県長、小城市長による行政間の訪問交流を行っている。	交流実績なし
小城市立 牛津中学校	シラパコーン大学 (タイ バンコク)		ツナガル株式会社からの紹介	交流実績なし

上峰町立 上峰中学校	大神（テイシン）中学高等学校 （韓国）	平成16年8月27日	S55年より剣道愛好者による民間交流が始まる。H13年に上峰町長及び議員がヨジュ郡を表敬訪問。ヨジュ郡からの来町も繰り返された。H15年、日韓友好上峰町青少年ヨジュ郡訪問事業開始。H16年に姉妹校締結。	交流実績なし
玄海町立 玄海みらい学園	コロワルスクール （オーストラリア シドニー）	平成29年8月10日	前教育長が国際交流を推進しており、数年前からコロワルスクールとは交流をしていた。その交流の一環として。	8月17日～22日 後期課程（7～9年）の10名の生徒がコロワルスクールを訪問。生徒はホームステイ先から同校に通い、交流を行った。
	鼻頭小学校 （台湾）		R5年最終回であった大牟田市主催の交流会に参加したことにより、玄海町教育委員会と鼻頭小学校とのつながりができ、2校で交流を継続することとなった。	1月31日に玄海町教育委員会主催の「海洋サミット」に鼻頭小学校もオンラインで参加。2月27日に本学園5・6年生と鼻頭小学校の全校児童とがオンラインで交流した。

## (ウ) 小学校

学校名	相手校	提携日	提携の経緯	令和6年度の交流状況
佐賀市立 勸興小学校	サンフォード・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成元年5月22日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 諸富南小学校	明湖小学校 (台湾)		佐賀市八戸溝郵便局長より諸富町内の6年生に、「手紙の書き方」指導の一助になればと、お手紙交流を紹介していただく。	交流実績なし
佐賀市立 循誘小学校	ウォーレンズバーグ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
	溪州小学校 (台湾)		郵便局からの依頼	交流実績なし
	安溪國小学校 (台湾)		ロータリークラブからの依頼	【オンライン交流】 6年生2クラスが、オンラインで学校紹介等の交流を行った。
佐賀市立 高木瀬小学校	高尾市立新甲國小学校 (台湾)		佐賀市八戸溝郵便局長より高木瀬小学校6年生に、「手紙の書き方」指導の一助になればと、お手紙交流を紹介していただく。	交流実績なし
	ケスキパロカンコウル小学校 (フィンランド)		佐賀市八戸溝郵便局長より高木瀬小学校5年生に、「絵手紙の書き方」指導の一助になればと、絵手紙交流を紹介していただく。	交流実績なし
佐賀市立 新栄小学校	トヒョン小学校 (韓国 釜山市)		まちづくり協議会の主催で21年前から交流は始まり韓国から交流団を招いたり、韓国に行ったりして交流をしてきた。	【児童14名が来日 (R6.11.1~11.3)】 トヒョン小の児童14名が来日し、交流会を行った。昨年度、韓国で宿泊させてもらった家庭の児童を自宅に招いた。日本や佐賀の文化を紹介するなど、交流を深めた。
佐賀市立 嘉瀬小学校	ハードリー・ルザーレン小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 鍋島小学校	クイーンズベリー小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 金立小学校	ビッグクロス・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成元年5月22日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 久保泉小学校	レイクジョージES校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 芙蓉小学校	ジャクソンハイツ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成元年5月22日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 川上小学校			令和5年度から大和ロータリークラブ主催による西九州大学留学生との交流を実施。	実施日：R7.2.18 西九州大学の留学生との交流で、互いの文化の紹介したり、給食を一緒に食べたりした。
唐津市立 名護屋小学校	萬徳初等学校 (韓国)	平成11年10月20日	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、H12年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っていた。	交流実績なし
唐津市立 東唐津小学校	アリゾナ州立大学 (アメリカ)		本校校長からの紹介	【オンラインでの交流 (R6.6.27)】 実施学年：6年 内容： ・互いに自己紹介 ・アリゾナの学生からアメリカの様子をスライドを用いながら紹介 ・小学生からアリゾナの学生に対して質問

鹿島市立 北鹿島小学校	大西(テソ)初等学校 (韓国 全羅南道高興郡)	平成22年8月4日	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行う。	<p>【韓国交流のための事前学習会】 (R6年12月4日、12月9日 対象5,6年生) 講師を迎え、韓国の文化や簡単な韓国語について学んだ。オンライン交流で、5年生は日頃の学習の様子、6年生は佐賀の魅力について、できるだけ韓国語で伝えるために、発表内容について検討し、韓国語での練習を繰り返し行った。</p> <p>【オンライン交流】(R6年12月18日 対象5,6年生) 日本からは、絵画、合奏、踊りの発表やパワーポイントを使っての説明をした。韓国からは、芸術、楽器、踊りの紹介があった。互いの文化に触れ有意義な交流ができた。</p>
芦刈観瀾校 (小城市立 芦刈小学校)	中国浙江省海鹽県の学校 (中国 浙江省)		S56年に、日中農業農民交流協会の事業として農業研修生12~13人が日本に派遣され、団長(金子龍)を含む数名が、三日月町及び牛津町の農家に約11か月間のホームステイによる研修で滞在。H20年、三日月町出身者が特別講師として中国海鹽県の泰山成校に招聘された。そこで、S56年に研修生として派遣された金子龍氏との間で、友好交流の話が持ち上がった。その後、小城市内の各種団体の代表で構成された訪問団による海鹽県の訪問や海鹽県長、小城市長による行政間の訪問交流を行っている。	交流実績なし
有田町立 有田小学校	マイセンアリタ小学校 (ドイツ マイセン市)		R6年度に有田町、ドイツマイセン市姉妹都市提携45周年を記念して、交流をしていきたいという申出があった。R5.10.13にマイセン有田友好協会が来校し、本校校長と有田町商工観光課で話し合いがもたれ、R6.11.21に調印式を行うこととなった。	<p>○令和6年7月2日：有田町商工観光課テオマン氏(常駐通訳士)にとる授業 参加人数：児童19名、職員3名、通訳士1名、商工観光課2名、町議員1名 内容：ドイツ国及びマイセン市及びアリタ小学校マイセンの概要説明</p> <p>○8月26日~28日：ビデオレター制作及び発送 参加人数：全校児童95名、職員18名 内容：ビデオレター制作①各学年ごとに学校の名所及び学級紹介②ドローンによる全校児童の空中撮影③ビデオレターの作成</p> <p>○9月26日~10月1日：訪独団(校長参加) 参加人数：10名 内容：マイセン市及びアリタ小学校マイセンの視察</p> <p>○9月20日：有田小学校とアリタ小学校マイセンとのオンライン交流会 参加人数：有田小学校(児童19名、職員3名、町職員2名)アリタ小学校マイセン(児童30名、職員5名) 内容：有田小学校(日本の歌、町・小学校の紹介とそれに関するクイズ)(学校及び遊びの紹介、個人の特技披露)</p> <p>○11月21日：ドイツマイセン市からの訪日団との交流会 参加人数：訪日団12名、役場関係者4名、全児童95名、職員18名、町議員1名、地域住民・保護者30名程度 内容：①姉妹校締結調印式②3年生による学校紹介③歓迎の歌・プレゼント渡し④チロリン節総踊り⑤給食試食⑥陶芸体験⑦3年生との交流授業</p>

(3) 多文化共生の地域づくり

ア 県内の地域日本語教室の数

(令和7年3月31日時点)

所在地（市町）	日本語教室数	所在地（市町）	日本語教室数
佐賀市	8教室	神崎市	1教室
唐津市	2教室	吉野ヶ里町	1教室
鳥栖市	2教室	基山町	1教室
多久市	1教室	みやき町	1教室
伊万里市	2教室	有田町	1教室
武雄市	1教室	白石町	1教室
小城市	1教室	—	—
嬉野市	1教室	計	24教室

調：多文化共生さが推進課

#### 4. 国際協力

##### (1) 国際協力の推進

##### ア 佐賀県海外技術研修員受入状況

年度	中国	ブラジル	アルゼンチン	ペルー	韓国	マレーシア	インドネシア	フィリピン	タイ	バングラデシュ	モゴ	ン	パラオ	計	主な研修機関
S55 ～ H5	110	25	6	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	147	各種県機関、チャーム洋装店、白石地区農協、衛生専門学院、溝田工業、ビューテック二葉、唐津市農協、アルセッド建築研究所、真生幼稚園、西九州大学、日祐、石橋建築事務所、大和養護学校、テク佐賀、久米製菓、鹿島市農協、佐賀新聞、フェイユ
H6	12	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	21	佐賀銀行、歯科医師会（佐賀医大）、JA武雄市、佐賀玉屋、県情報システム課、環境センター、窯業センター、工業センター、農試センター、上場センター、果試、畜試、県立病院
H7	9	4	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	17	農試センター、畜試、果試、窯業大学、窯業センター、タカタ九州、佐医大、佐賀広告センター、石橋建築事務所、JA神埼、佐賀大低平地防災研究センター
H8	9	5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	18	農試センター、畜試、果試、窯業センター、ジムコ、教育センター、産業技術学院、広告センター、佐賀玉屋、佐賀銀行、石橋建築事務所、JA小城郡、松尾建設、増田羊羹本舗
H9	9	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	16	農試センター、畜試、果試、窯技センター、産業技術学院、環境センター、けやき荘、オサダ、鳥栖基山農協、佐大低平地防災研究センター
H10	8	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	17	諸井税理士事務所、佐賀県歯科医師会、緒方整骨院、産業技術学院、窯技センター、農試センター、畜試、果試、JA白石、ジムコ、家畜保健衛生所
H11	6	4	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	16	佐賀医大、カシコボレション、佐賀玉屋、鶴田整形外科、ジムコ、産業技術学院、佐賀大学、農試、果試、畜試、JA鹿島、栽培漁業センター
H12	7	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	16	永原学園、はがくれ荘、電算センター、工技センター、農試センター、畜試、佐賀医大、環境センター、窯技センター、中部保健所、教育センター
H13	9	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	17	佐賀大学、セモノジヤパン、工技センター、県立博物館、農試センター、佐城農協、ジヤパンツアシステムサガ、戸上電機製作所、佐賀医大、佐大海浜台地生物生産研究センター、窯技センター、昭和自動車、佐賀保育園
H14	8	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	16	佐賀広告センター、重永デザイン事務所、果試、佐賀銀行、はがくれ荘、農試センター、佐賀みどり農協、総合看護学院、佐賀医大、佐賀大学、窯技センター、ビューテック二葉

年度	中国	ブラジル	アルゼンチン	ペルー	韓国	マレーシア	インドネシア	フィリピン	タイ	バングラデシュ	モゴ	ンル	パラオ	計	主な研修機関
H15	7	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	13	佐賀電算センター、佐賀玉屋、ホテルニューオータニ佐賀、佐賀整肢学園、佐賀環境科学検査協会、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H16	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	真生幼稚園、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H17	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	(財)環境科学検査協会、窯技センター、農試センター、林業試験場、サガシキ印刷
H18	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	環境センター、佐賀工業センター、佐賀食肉衛生研究所、音成印刷、窯技センター、玄海水産振興センター
H19	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	環境センター、農試センター、窯技センター
H20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター、佐賀電算センター
H21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H23	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター
H24 ～ R3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R4	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	12	佐賀大学
R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R6	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	佐賀大学
計	211	63	13	13	4	37	11	3	1	2	1	2	2	361	

※ S58年度まで県単独事業として実施

S59年度からH15年度までは国庫補助事業として実施

H16年度から再び県単独事業として実施

H21年度からH23年度まではJICAの補助事業として実施

調：多文化共生さが推進課

イ 独立行政法人国際協力機構（JICA） 研修員受入状況

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
S60	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
S61	2	タ イ アルゼンチン	〃 佐賀技能開発センター
S62	1	タ イ	佐賀大学農学部
S63	2	ケ ニ ア 中央アフリカ	〃 吉田鉄工所
H元	2	バングラデシュ	佐賀大学農学部
	1	ペ ル ー	〃
	1	ド ミ ニ カ	佐賀県農業試験場
	2	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
H2	1	タ イ	伊万里技能開発センター
	1	インドネシア	佐賀大学農学部
	5	マレーシア	(有)伊万里色鍋島
H3	1	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
H4	1	ケ ニ ア	〃
	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
H5	1	ミャンマー	佐賀大学理工学部
	1	大 韓 民 国	佐賀医科大学耳鼻咽喉科学講座
	1	チ リ	佐賀県農業試験場
H6	1	フィリピン	佐賀県窯業技術センター
H8	1	スワジランド	(株)ワイ・ビー・エム
H9	1	バングラデシュ	佐賀県産業技術学院
H10	1	フィリピン	中部家畜保健衛生所
H11	1	フィリピン	佐賀県産業技術学院
H13	1	パ ラ オ	(財)佐賀保育園
	1	モ ン ゴ ル	昭和自動車(株)
H14	1	モ ン ゴ ル	(有)ビューティック二葉
H16	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H17	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H18	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
	1	ブ ー タ ン	佐賀大学農学部
H19	1	ブ ー タ ン	〃
H20	1	ブ ー タ ン	〃
	13	インドネシア	佐賀大学理工学部
H21	14	インドネシア	佐賀大学理工学部
H26	1	ケ ニ ア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院工学系研究科
H27	1	エジプト	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	モ ロ ッ コ	佐賀大学大学院工学系研究科

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
H28	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	南スーダン	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	ナイジェリア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学大学院工学系研究科
H29	4	カメルーン	佐賀大学農学部
	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
	1	エチオピア	佐賀大学農学研究科
	1	ガーナ	佐賀大学農学研究科
	1	エジプト	佐賀大学工学系研究科
	1	ルワンダ	佐賀大学工学系研究科
	1	セネガル	佐賀大学工学研究科
R2	1	ミャンマー	佐賀大学大学院熱帯資源・植物生産科学研究科
	1	ブルキナファソ	佐賀大学大学院農学研究科
R3	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
	1	南アフリカ共和国	佐賀大学理工学研究科
	1	ベナン	佐賀大学理工学研究科
	1	カメルーン	佐賀大学農学研究科
R4	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学理工学研究科
	1	ナイジェリア	佐賀大学農学研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学理工学研究科
	2	ナイジェリア	佐賀大学理工学研究科
	1	アンゴラ	佐賀大学理工学研究科
R5	1	ナイジェリア	佐賀大学農学研究科
	1	ケニア	佐賀大学理工学研究科
	1	ナミビア	佐賀大学理工学研究科
	1	ブルンジ	佐賀大学理工学研究科
	1	ニジェール	佐賀大学理工学研究科
R6	3	ナイジェリア	佐賀大学理工学研究科、佐賀大学農学研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学理工学研究科
	1	ケニア	佐賀大学理工学研究科
	1	アンゴラ	佐賀大学理工学研究科
	1	ナミビア	佐賀大学理工学研究科
	1	ブルンジ	佐賀大学理工学研究科
	1	ニジェール	佐賀大学理工学研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学理工学研究科
	1	エチオピア	佐賀大学理工学研究科
	1	リベリア	佐賀大学理工学研究科
	1	セネガル	佐賀大学理工学研究科

※H22 ～ H25、R元の受入はなし

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

ウ 独立行政法人国際協力機構(JICA)海外技術専門家派遣状況（派遣時佐賀県在住者）

令和7年3月末現在

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
ア ジ ア	100	
シンガポール	1	第三国（電力供給・送配電）
インドネシア	21	昆虫、海員学校実習、経済開発、救急医療、救急看護（産科）、モデリングとシミュレーション、人間工学(コンピュータ)、コンピュータネットワーク、情報システム、マルチメディア信号処理、地理情報システム (GIS)、技術移転計画、人口知能2、コンピューター映像、中小企業海外展開支援、母子手帳を活用した母子保健プロジェクト
タイ	22	マンゴウ蒸熱処理、医昆虫学、水管理、廃水処理技術、通信ケーブル、地域高等教育振興計画、チーフアドバイザー、石膏型成形、生産性運動の普及、CAD、石膏型、原料分析、機器分析、機関、CAD/CAM/CNC、感染症研究（媒介節足動物研究）
ベトナム	9	土壌物理学、農産物流通学、消化器内科、園芸学/バイオテクノロジー、実験室維持管理、法・司法改革2
バングラデシュ	12	園芸学、植物病理学、園芸、遺伝育種学、農学、雑草学、業務調整（母子保健サービス強化）
パキスタン	3	手術室看護、NICU看護、新生児集中治療室看護
マレーシア	5	技術移転計画、チーフアドバイザー、高速液体クロマトグラフによる特定化学物質の尿中代謝物の分析法、化学テロへの対処と課題、MJIT支援アドバイザー
サウジアラビア	3	自動制御、電気通信、電気・電子
中国	6	野菜育種、切断、実験動物技術および管理、種子検定、チームリーダー/水稻育種・栽培、チーフアドバイザー
インド	1	鉄道線路ガス圧接
カザフスタン	2	甲状腺・乳腺診断指導
フィリピン	2	総合治水
スリランカ	6	農業経営、口唇口蓋裂の総合的診断治療システム、顎顔面補綴治療システム、顎顔面補綴技工システム、口唇口蓋裂治療システムの向上、チーフアドバイザー/大学運営
モンゴル	1	建設分野における労働安全管理能力強化プロジェクト
ラオス	2	メタファシリテーション、経済・ガバナンス企画調査員
ミャンマー	2	ボランティア支援、業務調整/民間連携
キルギス	2	野菜種子生産振興プロジェクト、一村一品インククリ式アプローチ
オセアニア	3	
ソロモン諸島	1	昆虫学
パプアニューギニア	2	業務調整/教材作成支援
中南米	30	
ホンジュラス	1	灌漑リハビリ計画レビュー
グアテマラ	3	脳神経外科、人類生態学、心臓病
パナマ	1	自動車整備
パラグアイ	8	寄生虫学、内科学、訓練管理、保健医療セクター調査、保険セクターサーベイ、ボランティア調整員、チーフアドバイザー/広域アドバイザー、農業・農村開発政策
ボリビア	3	病院管理、アースダムの設計・施工、ボランティア支援
チリ	5	直物組織培養、エアコン据付、第三国（光ファイバー伝送システム）、鉱山保安
メキシコ	5	ミニプロ（小規模米作近代化技術）、セラミック生産技術アドバイザー、マングローブ植林技術
ニカラグア	1	ボランティア支援
ブラジル	2	マングローブ生態系の回復と管理、ボランティア支援
エルサルバドル	1	算数数学教育/業務調整

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
アフリカ	23	
エジプト	1	染織物
カメルーン	3	品種純化選定技術、種子検査技術、コメ振興プロジェクト
ケニア	3	地下水開発（堀削機運転・堀削機維持）、育種
シエラレオネ	1	企画調整員
タンザニア	2	灌漑/農民研修、稲栽培技術/種子生産
マリ	2	村落開発アドバイザー（農業一般）
ウガンダ	3	業務調整/稲作普及、経済インフラ（運輸・交通、電力）、経済インフラ
ブルキナファソ	1	税関業務能力向上
マラウイ	2	船舶機関士養成、企画調整員
モロッコ	1	経済協力案件形成促進・監理
ガーナ	1	企画調整員(ボランティア支援)
ジブチ共和国	1	援助プログラム策定支援
ガボン	1	在外健康管理員
エチオピア	1	業務調整(エチオライズ2)
ヨーロッパ	3	
フランス	1	英国連携協力調査員
トルコ	2	文化財・遺物修復保存
計	159	

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

エ 青年海外協力隊等派遣状況（令和7年3月末現在）

（青年海外協力隊・海外協力隊、日系社会青年海外協力隊・日系社会海外協力隊、シニア海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊、各短期派遣を含む）

（ア）年度別派遣者数

年度	派遣者数	男	女
S44～H19	243	150	93
H20	15	7	8
H21	20	12	8
H22	22	9	13
H23	8	5	3
H24	10	6	4
H25	10	6	4
H26	9	4	5
H27	9	5	4
H28	13	6	7
H29	7	4	3
H30	14	8	6
R元	9	4	5
R2	0	0	0
R3	2	0	2
R4	3	1	2
R5	3	0	3
R6	8	3	5
計	405	230	175

（イ）国別・地域別派遣者数（令和7年3月末現在）

国・地域	累計	派遣中	帰国
<b>アジア</b>	<b>101</b>	<b>1</b>	<b>100</b>
インドネシア	5	0	5
中国	5	0	5
タイ	7	1	6
フィリピン	10	0	10
マレーシア	11	0	11
ベトナム	11	0	11
バングラデシュ	5	0	5
ネパール	8	0	8
スリランカ	10	0	10
ラオス	5	0	5
インド	1	0	1
ブータン	8	0	8
カンボジア	6	0	6
モンゴル	7	0	7
パキスタン	1	0	1
ウズベキスタン	1	0	1
<b>オセアニア</b>	<b>34</b>	<b>1</b>	<b>33</b>
パプアニューギニア	7	0	7
ソロモン	5	0	5
トンガ	5	0	5
サモア	2	0	2
バヌアツ	5	0	5
マイクロネシア	1	0	1
フィジー	4	0	4
キリバス	1	0	1
パラオ	2	1	1
マーシャル諸島	2	0	2

国・地域	累計	派遣中	帰国
<b>中南米</b>	<b>116</b>	<b>4</b>	<b>112</b>
ウルグアイ	1	0	1
ホンジュラス	12	0	12
ペルー	14	0	14
ボリビア	15	1	14
コロンビア	4	1	3
パラグアイ	15	0	15
グアテマラ	9	0	9
ニカラグア	3	0	3
エルサルバドル	4	0	4
ベリーズ	3	1	2
エクアドル	4	0	4
パナマ	3	0	3
ジャマイカ	1	0	1
ドミニカ共和国	8	0	8
コスタリカ	1	0	1
メキシコ	4	0	4
セントルシア	2	0	2
ブラジル	12	1	11
チリ	1	0	1
<b>アフリカ</b>	<b>123</b>	<b>3</b>	<b>120</b>
ケニア	18	0	18
タンザニア	16	1	15
ガーナ	10	0	10
リベリア	2	0	2
ザンビア	15	0	15
セネガル	9	1	8
マラウイ	14	0	14
ニジェール	4	0	4
コートジボアール	3	0	3
ボツワナ	5	0	5
マダガスカル	2	0	2
ジンバブエ	2	0	2
エチオピア	6	0	6
ウガンダ	7	0	7
ベナン	4	1	3
カメルーン	1	0	1
モザンビーク	2	0	2
ブルキナファソ	3	0	3
<b>中東</b>	<b>22</b>	<b>0</b>	<b>22</b>
ヨルダン	5	0	5
シリア	3	0	3
エジプト	2	0	2
モロッコ	8	0	8
チュニジア	4	0	4
<b>ヨーロッパ</b>	<b>9</b>	<b>1</b>	<b>8</b>
ブルガリア	5	0	5
セリビア	1	1	0
ハンガリー	3	0	3
<b>佐賀県計</b>	<b>405</b>	<b>10</b>	<b>395</b>

(ウ) 青年海外協力隊・海外協力隊員派遣状況（佐賀県出發者）

	性別	派遣国	業種名	期間
1	男	コロンビア	バドミントン	令和6年1月～令和8年1月
2	女	ボリビア	青少年活動	令和6年1月～令和8年1月
3	男	パラオ共和国	理学療法士	令和6年4月～令和8年4月
4	女	ベナン	看護師	令和6年4月～令和8年4月
5	女	セネガル	助産師	令和6年8月～令和8年7月
6	男	セルビア	野球	令和6年8月～令和8年8月
7	女	タンザニア	小学校教育	令和6年8月～令和8年3月
8	女	タイ	日本語教育	令和7年1月～令和9年1月
9	女	ベリーズ	障害者・児支援	令和6年11月～令和8年11月

(エ) シニア海外協力隊派遣状況（佐賀県出發者）

	性別	派遣国	業種名	期間
1	—	—	—	—

(オ) 日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊派遣状況（佐賀県出發者）

	性別	派遣国	業種名	期間
1	男	ブラジル	体育	令和6年8月～令和8年8月

オ アセアン青年・青年研修等受入状況

年度	受 入 グ ル ー プ	人数	受 入 機 関
S60	マレーシア青年指導者	25	青少年育成県民会議
S62	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	シンガポール勤労青年	24	青少年育成県民会議
S63	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	フィリピン青年指導者	26	佐賀県連合青年団
H元	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	パプアニューギニア青年指導者	14	佐賀県連合青年団
H2	アセアン青年混成チーム（公務員）	30	県国際交流室
	タイ農村青年	25	佐賀県農業青年クラブ連絡協議会
H3	フィリピン社会福祉青年	20	県国際交流室
H4	アセアン青年混成チーム（教員）	25	県教育委員会総務課
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
H5	アセアン青年混成チーム（学生）	30	佐賀県ユースホテル協会
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流課
H6	アセアン青年混成チーム	6	県国際交流課
	アセアン青年混成チーム（教員）	18	佐賀ユネスコ協会
H8	南西アジア教育	10	佐賀ユネスコ協会
H9	スリランカ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H10	アセアン青年混成チーム（行政）	24	(社)九州・山口経済連合会
	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H11	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H12	ネパール	10	佐賀ユネスコ協会
H13	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H14	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H15	インド教員（障害児教育）	19	佐賀ユネスコ協会
H16	マレーシア 教育（初等）	20	佐賀ユネスコ協会
H17	中央アジア（保健医療）	25	みやき町国際交流会
H20	大洋州混成 行政（地方行政）	12	みやき町国際交流会

※H21～R6の受入はなし

出典:独立行政法人国際協力機構九州センター調

### Ⅲ 国際交流関係諸機関

#### 1. 市町国際交流担当課（室）

市町名	担当課（室）名	電 話 番 号	F A X	メールアドレス
佐賀市	総務部国際課	国際交流係 0952-40-7023 多文化共生係 0952-40-7406	0952-40-2050	<a href="mailto:kokusai@city.saga.lg.jp">kokusai@city.saga.lg.jp</a>
唐津市	地域政策課	0955-72-9220	0955-72-9182	<a href="mailto:kokusai-chiiki@city.karatsu.lg.jp">kokusai-chiiki@city.karatsu.lg.jp</a>
鳥栖市	市民協働課	0942-85-3508	0942-83-3310	<a href="mailto:kvoudou@city.tosu.lg.jp">kvoudou@city.tosu.lg.jp</a>
多久市	総務課 行政係	0952-75-2112	0952-75-2110	<a href="mailto:somu@city.taku.lg.jp">somu@city.taku.lg.jp</a>
伊万里市	地域づくり課	0955-22-7046	0955-22-9575	<a href="mailto:chiikizukuri@city.imari.lg.jp">chiikizukuri@city.imari.lg.jp</a>
武雄市	男女参画・ 市民協働課	0954-23-9141	0954-23-3816	<a href="mailto:daniyo@city.takeo.lg.jp">daniyo@city.takeo.lg.jp</a>
鹿島市	広報企画課	0954-63-2101	0954-63-2129	<a href="mailto:kikaku@city.saga-kashima.lg.jp">kikaku@city.saga-kashima.lg.jp</a>
小城市	企画政策課	0952-37-6115	0952-37-6163	<a href="mailto:shiminkvoudou@city.ogi.lg.jp">shiminkvoudou@city.ogi.lg.jp</a>
嬉野市	観光商工課	0954-42-3310	0954-42-2960	<a href="mailto:kankou@city.ureshino.lg.jp">kankou@city.ureshino.lg.jp</a>
神埼市	総合政策課	0952-37-0102	0952-52-1120	<a href="mailto:kikaku@city.kanzaki.lg.jp">kikaku@city.kanzaki.lg.jp</a>
吉野ヶ里町	財政協働課	0952-37-0331	0952-52-6189	<a href="mailto:zaiseikvodo@town.yoshinogari.lg.jp">zaiseikvodo@town.yoshinogari.lg.jp</a>
基山町	まちづくり課 協働推進係	0942-92-7935	0942-92-0741	<a href="mailto:kvodosuishin-2@town.kiyama.lg.jp">kvodosuishin-2@town.kiyama.lg.jp</a>
上峰町	政策課	0952-52-2182	0952-52-4935	<a href="mailto:seisaku@town.kamimine.lg.jp">seisaku@town.kamimine.lg.jp</a>
みやき町	まちづくり課	0942-96-5526	0942-96-5530	<a href="mailto:machizukuri@town.miyaki.lg.jp">machizukuri@town.miyaki.lg.jp</a>
玄海町	企画商工課	0955-52-2112	0955-52-3041	<a href="mailto:kikakusyokou@town.genkai.lg.jp">kikakusyokou@town.genkai.lg.jp</a>
有田町	商工観光課	0955-46-2500	0955-46-2100	<a href="mailto:syoko@town.arita.lg.jp">syoko@town.arita.lg.jp</a>
大町町	企画政策課	0952-82-3112	0952-82-3117	<a href="mailto:machidukuri@town.omachi.lg.jp">machidukuri@town.omachi.lg.jp</a>
江北町	総務政策課 企画情報係	0952-86-5612	0952-86-2130	<a href="mailto:soumuseisaku@town.kouhoku.lg.jp">soumuseisaku@town.kouhoku.lg.jp</a>
白石町	総合戦略課 白石創生推進係	0952-84-7132	0952-84-6611	<a href="mailto:sougousenryaku@town.shiroishi.lg.jp">sougousenryaku@town.shiroishi.lg.jp</a>
太良町	企画政策課	0954-68-0125	0954-67-2425	<a href="mailto:kikaku@town.tara.lg.jp">kikaku@town.tara.lg.jp</a>

## 2. 県の機関

(本庁・教育庁) 〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 電話(代表) : 0952-24-2111  
 (佐賀商工ビル) 〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 電話 : 0952-25-7004

機関名	事業内容	電話番号	F A X
国際政策グループ (本庁)	国際政策の企画立案及びその推進に関する事 こと	0952-25-7419	0952-25-7084
多文化共生さが推進課 (本庁)	海外施策及び国際交流に係る施策の推進や国 際協力に関する事	0952-25-7328	0952-25-7084
	多文化共生に係る施策の総合調整及び推進に 関する事		
	旅券に関する事	0952-25-7005	0952-25-7417
国際交流プラザ (佐賀商工ビ ル1階)	多文化共生の推進に関する事	0952-25-7004	0952-25-7664
空港課 (本庁)	佐賀空港の管理運営、整備、利活用に関する 事	0952-25-7104	0952-25-7318
港湾課 (本庁)	港湾区域内における港湾・海岸の管理	0952-25-7163	0952-25-7315
観光課 (本庁)	観光施策の総合調整及び推進、観光宣伝及び 観光客の誘致、旅行業及び通訳案内業に関する 事	観光企画担当 0952-25-7386	0952-25-7304
		国内・インバウンド担当 0952-25-7098	
産業政策課 (本庁)	産業振興に係る施策の総合企画に関する事	0952-25-7357	0952-25-7270
流通・貿易課 (本庁)	県産品の流通や国際経済に係る施策の企画及 び調整並びに推進に関する事。	地場産業担当 0952-25-7095	0952-25-7307
		国際経済担当 0952-25-7146	
教育振興課 グローバル人材 育成担当 (教育庁)	グローバル化に対応した教育の推進	0952-25-7411	0952-25-7409

## 3. その他関係機関

機関名	住所	電話番号	F A X
(公財)佐賀県国際交流協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル1階	0952-25-7921	0952-26-2055
(公財)佐賀県地域産業支援セ ンター さが県産品流通デザ イン公社	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新館9階	0952-20-5601	0952-20-5600
(一社)佐賀県観光連盟	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新館6階	0952-26-6754	0952-26-7528
福岡出入国在留管理局 佐賀 出張所	〒840-0801 佐賀市駅前中央三丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎6階	0952-36-6262	0952-36-6261
独立行政法人 国際協力機構 JICA九州	〒805-0062 北九州市八幡東区平野二丁目2 番1号	093-671-6311	093-671-0979
経済産業省 九州経済産業局 国際部	〒812-8546 福岡市博多区博多駅東二丁目11 番1号 福岡合同庁舎本館	(国際課) 092-482-5423	092-482-5321
日本貿易振興機構(JETRO) 佐賀	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル4階	0952-28-9220	0952-28-9230
佐賀市国際交流協会	〒840-0801 佐賀市駅前中央一丁目8番32号 アイスクエアビル1階	0952-29-0322	0952-40-2050
伊万里市国際交流協会	〒848-0027 伊万里市立花町1542番地16	0955-22-7046	0955-23-2121
唐津市国際交流協会	〒847-0013 唐津市南城内1番1号 市民交流プラザ交流活動室	0955-72-9220	0955-72-9182
陶都有田国際交流協会	〒849-4192 西松浦郡有田町立部乙2202番地 有田町役場商工観光課内	0955-46-2500	0955-46-2100
肥前町国際交流協会	〒847-1516 唐津市肥前町瓜ヶ坂434番地	0955-54-2481	0955-54-2481